

## 第54回鳥取県健康対策協議会理事会

- 日 時 令和5年7月13日（木） 午後3時～午後5時30分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 47人（役員39人、オブザーバー3人、事務局5人）  
オブザーバー：県健康医療局健康政策課（上田課長補佐）  
鳥取県保健事業団（米本常務理事兼事務局長）  
中部総合事務所倉吉保健所（小倉所長）  
健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、神戸課長  
井上主事、廣瀬主事

### 司会：岡田理事

規約第6条により、会長は鳥取県医師会長とし、副会長は鳥取大学医学部長及び鳥取県福祉保健部長をあてることとなっている。会長、副会長よりご挨拶をいただいた。

### 挨拶（要旨）

〈渡辺 憲会長（鳥取県医師会長）〉

皆様方には、日頃から、健対協事業に大変ご尽力を賜り、また、本日はご多忙のなか、第54回鳥取県健康対策協議会理事会にご参集いただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたが、最近では感染者数の増加がみられ、特に直近1、2週間は感染者が急激に増加しており、医療の逼迫が懸念される状況である。鳥取県では、従来の体制を強化し円滑に診療が行われており、地域医療はスムーズな連携が取れている。今後も医療の役割を果たしていかなければいけない。

本日の理事会は、TV会議システムを活用し、県医師会、中部ならびに西部医師会館の3会場に

おいて開催させていただいている。

健対協は昭和46年に発足し、昨年50周年を迎えた。その間、鳥取県、鳥取大学医学部、鳥取県医師会の三者が一体となって事業を行っており、数々の実績を残している。

本日の理事会は、主な議題であります令和4年度事業報告、令和4年度決算、令和5年度事業計画（案）、令和5年度予算（案）について、慎重なご審議をお願いする。

新型コロナウイルス感染症の影響で受診控え等が起こっていたがん検診事業等についても、今年度は増加してくることが期待されるが、コロナの対策もしっかり行いながらのがん検診の実施が求められている。がんの発見や治療が遅れることはあってはならないことのため、地域医療及び検診を始めとした健康対策事業を、引き続き委員の皆様と力を合わせて続けて参りたい。

例年は、理事会終了後には、懇親会を開催していたが、残念ながら、昨年度に引き続き、中止とした。本日はよろしく願います。

〈景山誠二副会長（鳥取大学医学部長）〉

本年の4月から鳥取大学の医学部長を拝命いたしました景山と申します。鳥取大学医学部の機能に教育、研究、社会保健がある。社会保健の中には、鳥取大学医学部附属病院が大きな機能としてある。大学の学生の教育につきましては、本日出席の皆様にお世話になっている。この場をお借りしてお礼申し上げます。現在大学の教育は、地域に出て学ぶことが求められているため、是非今後も先生方のご指導をいただきたく思う。鳥取大学の機能である研究は、鳥取県の様々な活動の中で育てていくことも特徴のため、研究成果をいただき、社会貢献に繋がることを期待している。鳥取大学医学部附属病院については、研究が社会貢献に繋がる1つのショーケースであるためより発展していくことを願っている。また、鳥取大学医学部附属病院は最後の砦という話はよく出る話であるが、そのようにあり続けられるようこれからも精進していく。本日は、よろしく願います。

〈中西眞治副会長（鳥取県福祉保健部長）〉

日頃、鳥取県健康対策協議会の役員の皆様には、保健行政にご協力をいただいております。この場をお借りして、お礼申し上げます。また、コロナ対策に関しても、様々な面で多大なご尽力賜りまして、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、最近再度急拡大の様相を呈してきている。これが医療逼迫に繋がらないことを願っているが、引き続き先生方とコミュニケーションを取りながら、対応していきたいと思うのでご協力をよろしくお願い申し上げます。新型コロナの感染者数が増えているが、がん対策を始めとしたさまざまな健康上の諸課題に対して、向上を目指していかななくてはならないと思っている。

皆様ご存知の通り、4月より平井知事の5期目の県政が始まり、マニフェストでは「鳥取さいこう（再興、最高）チャレンジ」を掲げ、県民の健

康が地域づくりとなるということで、県も健康づくりに非常に力が入っている。健康対策協議会は医師会、医学部、行政の連携が取れた恵まれた体制であると思っているため、今後も引き続きよろしく願います。

### 理事の異動（敬称略）

○鳥取県、鳥取大学医学部の人事異動、鳥取県東部医師会の役員改選により、役員に就任された方は次のとおりである。

〈副会長〉

鳥取大学医学部長 景山 誠二

〈理事〉

鳥取県健康医療局長 坂本 裕子

鳥取県健康医療局健康政策課長 山崎 利幸

鳥取県健康医療局医療政策課長 福井 恒

鳥取大学医学部附属病院長 武中 篤

鳥取大学医学部教授 谷口 文紀

令和5年4月1日付で就任

役員名簿のとおり。（留任役員39名、新任役員6名）

任期は、令和6年3月31日までである。

理事43名に対し39名の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立した。

議事進行：議長は渡辺会長

### 議 事

#### 1. 令和4年度事業報告

各専門委員会の活動状況について、各専門委員長より資料をもとに説明、報告があった。（各種検診の令和3年度実績、令和4年度実績見込み、令和5年度事業計画は別表のとおり）（別記1）

（1）がん登録対策専門委員会：尾崎委員長に代わって岡田理事が報告  
がん登録推進法による届出の義務化に伴い、

データの完全性と正確性が担保され、がん登録データの利活用によるがん対策やがん医療の評価について考える新たながん登録の時代を迎え、全国がん登録への期待はますます高まってきている。鳥取県における登録精度は、前年よりさらに向上している。

鳥取県において罹患数の順位は、男性において、胃（18.0%）、前立腺（17.0%）、肺（15.2%）、大腸（13.2%）であり、女性においては、乳房（20.2%）、大腸（15.7%）、胃（10.0%）、肺（9.8%）、膵臓（6.1%）であった。全国の罹患数の順位は、男性において前立腺、大腸、胃、肺、肝臓の順で、女性において乳房、大腸、肺、胃、子宮の順であり、鳥取県では、男性女性の胃、男性の肺、女性の膵臓の順位が高いのが特徴である。

全国比較では、男性においては全部位、胃、肝臓、肺および前立腺で全国値を超える値を認めた。女性においては、全部位、胃、大腸、肝臓および肺で全国値より僅かに高い値を、乳房と子宮で全国値より低い値を認めた。

登録精度向上と届出情報入力のお考え方の統一性を図ることを目的に実務者を対象とした研修会を開催する予定としていたが、コロナ禍のため、資料の配付をもって開催に代えさせていただいた。なお、全国がん登録オンラインシステム利用の手続きが完了されていない医療機関については、引き続き利用申請の依頼を継続していくこととなった。

「鳥取県がん登録事業報告書（平成31年〔2019年〕集計）」作成。

日本がん登録協議会第31回学術集会参加（Web開催）。

（2）胃がん対策専門委員会：謝花委員長に代わって磯本理事が報告

令和3年度胃がん検診受診率は26.9%であった。そのうち、内視鏡検診実施割合は83.7%であり、年々増加している。X線検査における国のプロセス指標については、要精検率、精検受診率、がん

発見率、陽性反応適中度の許容値はクリアしている。内視鏡検診の組織実施率は2.8%で、年々減少している。

確定胃がんは130人で前年度より3人減少、がん発見率は0.27%（X線検診0.10%、内視鏡検診0.30%）で、早期癌率は82.3%であった。

令和4年度は、胃がん検診対象者数181,414人、受診者数48,882人、受診率は26.9%となる見込みである。

胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討では、（1）北栄町（対象；中学3年生、尿中ピロリ菌抗体検査、平成27年度開始）は、令和3年度（確定）受診者113人、尿中ピロリ菌陽性者11人、呼気テスト陽性4人、除菌実施率は100%であった。（2）働きざかり世代の胃がん対策事業は、（協会けんぽ鳥取県支部）受診者数1,441人、要精密160人、令和4年度で終了予定。（3）市町村と連携して行う胃がん対策事業は、対策型検診に伴ったリスク層別化検査（40～65歳、70歳まで拡大可能）と、若年層に対する胃がん予防対策としてのリスク層別化検査（20～39歳）で、40歳以上は原則胃がん検診と同時実施した。令和3年度は5町で実施し、受診者272人、内視鏡検査69人、集計では伯耆町の40歳未満の陽性者数（陰性高値を含む）が多くみられるので、確認の上、再度検討することになった。血清ピロリ菌抗体測定検査方法についても調べてもらうことにした。

胃がん検診実施に係る手引きの一部改正について、令和3年10月に国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が一部改正され、がん検診対象者自身が、がん検診の利益・不利益を考慮した上で受診することが望ましい」と記載が追加された。3年度も協議しているが、今回は、市町村が普及啓発するために活用する具体的な説明内容について検討した。胃内視鏡検査における合併症（偶発症）については検査時同意を取得するため不要などの意見があり、さらに不利益（偽陰性、偽陽性、過剰診断）等の説明内容を

協議し、修正することとなった。

従事者講習会及び症例研究会は令和5年2月25日（土）鳥取県健康会館にて開催した。

第53回日本消化器がん検診学会中国四国地方会が令和4年11月26日～27日、鳥根県出雲市ビッグハート出雲において開催された。鳥取県からは「鳥取県、米子市の胃がん検診の現況—コロナ禍の影響を含めて—」を報告した。

### （3）子宮がん対策専門委員会：皆川委員長報告

令和3年度子宮がん検診は受診率25.4%、要精検率1.19%、精検受診率80.5%、がん発見率0.01%、陽性反応適中度0.5%であった。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るものの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要精検率は許容値を満たしているが、がん発見率、陽性反応適中度、いずれも国の許容値に届いていない状況である。しかしながら、現在のプロセス指標は実態を反映していないので、全国的に疑問視する声も大きく、国のプロセス指標の変更（新基準値として許容値と目標値の設定、陽性反応的中度の非採択等、子宮頸がんについてはがんに加え、CIN3以上の感度と発見率への変更）が期待される。

精密検査結果のうち、上皮内病変が39.7%を占めており、若年者層から発見が多い。

子宮体部がん検診対象者数は1,502人で、一次検診会場での受診者は1,093人、一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者は125人、受診者の合計は1,218人、受診率は81.1%であった。一次検診の結果、要精検率2.65%、精検の結果、子宮体部がんが6人発見され、がん発見率は0.55%であった。

検診発見がん確定調査の結果、子宮頸部癌2例で、IA期1例、IB期以上が5例であった。治療対象のCIN3またはAISは32例であった。CIN1、2または腺異形成70例であった。令和2年度に比べ、子宮頸部癌が4例減、CIN3またはAISは10例減少した。なお、IB期以上1例は前年受診で

あった。また、子宮体部癌は9例、子宮内膜増殖症3例であった。

米子市と鳥取市を中心に細胞診・HPV併用健診が実施中であるが、今後、県下で統一したHPV併用検診を進めていくことを前提とすると他県での状況を考慮しながら問題点を整理し協議を進める必要がある。主な意見としては、細胞診及びHPV検査ともに陰性だった場合に次の検診を何年後が適切か（3年後が妥当か）、検診間隔の延長に対する科学的根拠の実証と受診者への周知、費用対効果の試算の必要性、検診台帳管理の複雑化等の問題点が指摘された。現時点では部会・専門委員会としてはHPV併用検診のモデル（産婦人科医会提唱を参考に試作したアルゴリズム）の提供までが妥当とも思われるが、引き続き手引きの改正も含めて検討していくこととなった。

令和4年度実績見込みは、対象者数121,933人、受診者数は32,198人、受診率26.4%である。また、令和5年度は、受診者数33,683人を予定している。

従事者講習会及び症例研究会は、令和5年2月12日（日）鳥取県健康会館にて開催した。

### （4）肺がん対策専門委員会：杉本委員長報告

令和3年度は受診者数53,894人、受診率29.7%、要精検率3.64%、精検受診率89.6%、がん発見率0.04%、陽性反応適中度1.2%であった。令和3年度の結果からは、受診率の回復が見られ、陽性反応的中率は国の指標をやや下回る結果ではあるが、引き続き多くの肺がんが発見され、精度管理も良好と考えられる。

医療機関検診と集団（車）検診を比較では、要精検率は医療機関検診3.69%、集団検診3.54%であり同程度であった。要精検率については地域差も縮小してきている。

検診発見がん確定の結果、原発性肺がん38例、転移性肺腫瘍3例、合計41例の肺がん確定診断を得た。原発性肺がんは、すべて胸部X線で発見された。原発性肺がんの平均年齢は73.5歳、男性22

例、女性は16例、臨床病期はⅠA期17例（44.7%）、Ⅰ期21例（55.3%）であった。組織型は腺がんが26例（68.4%）であった。

令和4年度検診実績見込みは、受診率は29.7%になる予定である。

従事者講習会及び症例研究会は、令和5年2月18日（土）鳥取県西部医師会館にて開催した。

#### （5）乳がん対策専門委員会：山口委員長報告

令和3年度の受診者数は17,631人、受診率16.2%、要精検率6.28%、精検受診率94.8%。確定調査結果では、検診発見乳がんは78例で、がん発見率は0.44%、陽性反応適中度は7.04%で、前年度より1.7ポイント減少した。前年度はコロナ感染症の影響で受診率、受診人数の低下が起こっていたが、令和3年度は例年通りの受診状況に戻りつつある。検診のプロセス指標（要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度）は、例年通りすべて達成できていた。

令和4年度は、乳がん検診対象者数109,121人、受診者数18,403人、受診率は16.9%の予定である。

確定乳がんは78例で、前年度より18例減少した。確定乳癌の平均年齢は64.8歳で、70歳代の患者が最も多かった。早期癌は65.0%を占め、前年度と同様であった。ステージ4の症例は1例あり、初回受診者であった。術式は乳房温存手術の割合が全体の1/3程度で（34%）であり、近年この比率が続いている。

従事者講習会及び症例研究会は、令和5年1月28日（土）鳥取県健康会館を会場とし、雪の影響で急遽ハイブリッド開催とした。

#### （6）大腸がん対策専門委員会：濱本委員長報告

令和3年度は対象者数181,414人のうち、受診者数53,884人、受診率29.7%、前年度比2.1ポイント増であった。なお、このうち40歳から69歳の値は対象者数63,987人、受診者数24,641人、受診率38.5%であった。要精検率は7.7%で、プロセス指標の目標値である7.0%を上回っている。精検受

診率76.4%で、がん発見率0.27%、陽性反応適中度3.48%であった。要精検率は国が示す許容値を上回り、がん発見率、陽性反応的中度は国の許容値を満たしており、例年と同様に精度は保たれていると考えられる。

確定調査により地域検診で43例、施設検診で110例の合計153例が確定大腸がんであった。このうち早期がんが94例で早期がん率は61.4%であった。令和2年度には令和元年度から45例減少していた確定がん患者数が8例増加したことは、新型コロナウイルス感染症による受診控えが、徐々に改善しつつある影響が考えられた。

各地区の大腸がん注腸読影委員会は継続設置としているが、令和4年度も注腸X線検査の読影会の実績はなかった。

従事者講習会及び症例研究会は、令和5年3月4日（土）鳥取県西部医師会館にて開催した。

#### （7）肝臓がん対策専門委員会：孝田委員長に代わって岡田理事が報告

令和3年度は、健康増進事業における肝炎ウイルス検査の受検者数は4,458人で受検率は2.2%であった。受検者数におけるHBs抗原陽性率は1.3%、HCV抗体陽性率は0.3%であった。精検受診率57.4%で、前年度に比べ10.2ポイントの減少であった。精検の結果、肝臓がん確定は0人であった。

検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の結果、肝臓がん確定は、B型肝炎ウイルス陽性者が8人、C型肝炎ウイルス陽性者が6人であった。

肝臓がん検診および定期検査によって発見された肝臓がん患者の予後については、以下のとおりである。

平成7年から開始した肝臓がん検診によって発見された肝臓がんは令和元年度までで31人で、現在生存中の患者は4人であった。平成10年から開始した定期検査によって発見された肝臓がんは令和3年度までで202人で、現在生存中の患者は55

人である。

従事者講習会及び症例研究会は、令和5年2月4日（土）鳥取県健康会館にて開催した。

#### （8）若年者心臓検診対策専門委員会：吉田委員長報告

令和4年度心電図検診は19,323人が受診し、そのうち、正常範囲が18,821人、要精検者数502人で、要精検率は2.6%であった。

#### 心臓精密検査結果

県教育委員会及び鳥取県健康対策協議会へ報告のあった集計では、定期健康診査受診者数57,690人のうち精密検査対象者数は1,442人（うち新規653人）で、精検受診率は80.7%であった。精密検査の結果、要医療20人、要観察638人、管理不要277人、異常なし228人であった。

心臓検診従事者講習会は、令和5年2月19日（日）倉吉体育文化会館にて開催した。若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会が令和4年度は1月29日（日）に高知県にて現地開催された。令和7年度（2026年1月頃）に鳥取県での開催依頼があり、開催に向けて検討している。

#### （9）母子保健対策専門委員会：難波委員長報告

令和3年の出生者数は3,708人で、合計特殊出生率は1.51（全国平均1.30）。周産期死亡数は11人で、周産期死亡率3.0（全国3.4）であった。

令和3年度妊娠届出数は3,619件で前年より121件減少した。そのうち分娩後の届出が2件であった。3～5か月健診の受診率は94.8%、6～8か月健診の受診率は97.3%、9～12か月健診の受診率は87.3%、1歳6か月児健診の受診率は95.5%、3歳児健診の受診率は98.1%と高率である。

眼科検査に屈折検査機器を導入している市町村では要精検の率が高く、早期治療等につながっていると考えられる。日本眼科医会等より屈折検査機器の積極導入を進めるよう要望書が出ており、令和5年度から県内全市町村で屈折検査機器が導入される予定。

令和3年度妊娠届時の喫煙率は1.61%で前年より0.05ポイント増加した。同居家族の喫煙は32.7%で、前年に比べ4.3ポイント減少した。

令和3年度産後健康診査結果は、産後2週目：受診者数2,762人のうち、要精検9人、要治療6人（精神科への紹介数は3件）。市町村の支援必要性「有」となったケースに対する支援は、保健師訪問394人、養育支援訪問事業31人、産後ケア事業24人、産前産後サポート事業11人であった。

産後4週目：受診者数3,605人のうち、要精検6人、要治療11人（精神科への紹介数は4件）。市町村の支援必要性「有」となったケースに対する支援は、保健師訪問516件、養育支援訪問事業16件、産後ケア事業37件、産前産後サポート事業16件、その他57件であった。

令和3年度の鳥取県の全年齢における人工妊娠中絶実施率は6.7%（全国5.1）で、前年より0.8ポイント減少した。鳥取県の20歳未満における人工妊娠中絶実施率は3.5%（全国3.3）で前年より0.9%減少した。鳥取県の人工妊娠中絶率はまだワースト3位なので、今後も情報提供等の啓発を継続する。

令和4年12月末時点でのガスリー検査による精密検査対象者は11人（前年度18人）、タンデムマス法検査による精密検査対象者は2人（前年度0人）であった。

令和3年度新生児聴覚検査は、15医療機関において実施され、実施率99.74%（前年99.47%）であった。精密検査の結果、両側難聴が6人、一側難聴が10人であった。

先天性代謝異常等検査事業（新生児マススクリーニング）の多胎児のマススクリーニング検査について、日本マススクリーニング学会より、先天性甲状腺機能低下症マススクリーニングガイドラインにおける双胎児の取り扱いについて、全ての双胎児の2回目のスクリーニング検査の必要性等に関して、各自治体で検討するようにと通知があった。再検査することについては、先天性甲状腺機能低下症を漏れなく発見するために賛成の意

見があった。拡大マスキング検査については、鳥取県における新生児マスキングの対象疾患の追加の必要性、対象疾患を追加した場合の検査体制、実施体制等について検討する場として、新生児マスキング小委員会を設置することが承認された。

#### (10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：瀬川委員長報告

令和4年度は以下について調査を行った。

##### 1. 「特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患拾い上げ」

対象は日野町、江府町、日南町、伯耆町、南部町において特定健康診査、後期高齢者健診の受診者において生活習慣病の受診勧奨となった住民に対して医療機関受診時に測定された血小板数を町に返信してもらい、線維化予測式であるFIB-4インデックスを測定する。FIB-4インデックスによって低リスク、中リスク、高リスクの3群に分け、高リスク群に対して、肝臓がん検査の受診勧奨を行う。さらに、拾い上げられた高リスク群に対して定期検査の受診勧奨および結果報告書を送付して肝臓がんの発症を調査する。

2021年度の5町からの最終報告では健診対象者は13,555人、受診者は2,152人（15.9%）、生活習慣病受診勧奨者312人（14.5%）であった。同意者は114人（36.5%）であり、高リスク16人（14%）、中リスク27人（23.7%）、低リスク71人（62.3%）であった。2022年度の同意者の状況は2023年3月までに84人であり、高リスク10人（12%）、中リスク20人（24%）、低リスク54人（64%）であった。次に2020年度、2021年度で高リスク群であった16人において定期検査の受診勧奨を行い、現在までに結果報告のあったのは6人であった。1例は他疾患のため対象外となった。5人中脂肪肝3人であったが、肝臓がんはなかった。

高リスク群の定期受診率は37.5%と低調であ

り、受診率を上げるための仕掛けが必要である。2023年度は鳥取県より精密検査費助成を受けられるようになった。この助成によりこの事業への参加者を増加する方策を検討したい。

##### 1-2. 「糖尿病からの非ウイルス性肝臓がん高リスク患者拾い上げ」

鳥取県済生会境港総合病院において2022年5月初め～7月末の期間に受診した439名の糖尿病患者のFIB-4 indexは平均1.64であり、うちFIB-4 index 2.67以上を43例（9.8%）に認めた。43例中25例（58.1%）から本臨床研究参加の同意を得て、2022年度内に初回の腹部超音波検査を実施した。主な患者背景因子を図2に示す。腹部超音波検査の結果、2例に肝腫瘍の存在が疑われ、EOB-MRIによる精査を行ったが、いずれもHCCを認めなかった。

##### 1-3. 「糖尿病からの非ウイルス性肝臓がん高リスク患者拾い上げ」

2012年4月～2022年3月までの期間で、鳥取県肝疾患連携拠点病院である鳥取大学医学部附属病院消化器内科において、病理組織学的または画像検査にてHCCと初回診断した372例を検討対象とした。対象期間は、2012年～2015年を前期、2016年～2018年を中期、2019年～2022年を後期として区分した。年齢、性別、成因、肝硬変の有無、HCCのステージ（TNM stage、BCLC stage）、HCCの初回治療法などを調査した。

全国的な傾向と同様に、初発HCCの成因で当院も近年ウイルス性が50%を切り、一方でNBNCが増加していた。しかしながら、厚生労働省第肝炎対策推進協議会の報告によると、鳥取県はHBV、HCVとも肝炎ウイルス検査陽性率が全国平均よりも高く、引き続き陽性者の掘り起こし、受検・受診・受療のサイクルを促進する取り組みが重要である。

一方、NBNCの占める割合が増加するにつれて、腫瘍サイズが大きく、進行したHCCで診

断される症例が増加していることが明らかとなった。これらは、単発であれば手術やTACEでの治療が可能であったが、多発例や遠隔転移例では全身化学療法が選択されていた。

NBNC肝癌（非アルコール）におけるHCCサーベイランスの効率的な手法として、糖尿病とFIB-4 indexに注目した高危険群の囲い込みが有用との報告がある。本事業と並行して県内医療機関や自治体で実施されている、「FIB-4 index 2.67以上の糖尿病患者を対象とした腹部エコーによるHCCのサーベイランス」や「健診で生活習慣病により受診勧奨となった住民からのFIB-4 indexによる拾い上げ」の研究成果が待たれる。一方、本検討においてNBNC肝癌のうち半数以上はアルコール性が占めており、これらは発見時の腫瘍サイズが大きかった。これはアルコール性肝障害に起因するHCCについて定まったサーベイランスの手法がないことが原因と考えられる。日本人のアルコール消費量は低下傾向にあるものの、女性の飲酒者はむしろ増加傾向にあることから、今後もアルコール性肝障害からの肝発癌への対策は重要な課題である。健診や人間ドック受検者で過剰飲酒のある者への腹部エコー検査等の勧奨、かかりつけ医での飲酒状況の問診と肝機能検査の実施などから高危険群の拾い上げを行っていく地道な取り組みが必要と考える。

## 2. 「鳥取県の地域がん登録とKDBデータの連結によるがん罹患要因とがん医療費に関する後ろ向きコホート研究 2019年罹患分」

2019年のKDBデータベースに2019年の鳥取県のがん罹患情報を突合したデータセットと、2014年のKDBデータにおける特定健康診査に関する情報を突合した。

今回の分析は、2019年の単年のがん罹患を5年前の2014年の健診結果で予測しようというものであった。そもそも特定健康診査は循環器疾患対策のためのものなので、予測能は、高くないと予測されたが、さらに生活習慣に関係した

設問がある問診票のデータに欠損が多く、解析に苦労した。その中でも興味深い結果を得ることができた。

全がんで喫煙が危険因子とならず、飲酒が関係したことは、胃がんでも同様の結果が得られ、従来の知見と異なる結果であった。しかし、同様の関係は前立腺がん、75歳未満に限定した全がんや肺がんでも一貫した危険因子として確認された。国立がんセンターによると、飲酒が危険因子として確実ながんは、全がん、肝、大腸、食道であるため、今回の結果はそれとは異なる知見であった。鳥取県では、がん罹患に飲酒がより強く寄与している可能性が示唆されるため、今後注意深い検討が必要である。

肺がんや大腸がんの分析で得られた尿糖は、ありが危険因子となることは、国立がんセンターの資料では、大腸がんのみ関連がある可能性があるとしてされているので、意義のある結果の可能性はある。肝臓がんの糖尿病による治療中の危険因子は、既存の知見と合致する。肺がんの検討においては、全年齢でも、75歳未満でも慢性腎臓病・人工透析の既往が危険因子となっていた。これは、今まで指摘されてない知見であるため、今後も再現性があるかを検討する必要がある。

本研究では、がんの疫学では最も確定した危険因子である喫煙の関連が弱く、危険因子として関連する部位が少なく、肺がんでの相対危険度の大きさも従来の知見より小さかった。これは、欠損値が多かったため、情報が不明の者を「喫煙なし」と判断したことによる誤分類や、健診受診者が健康志向の者に偏っている選択バイアスの影響があると考えられる。それでも一定の危険因子、防御因子が鳥取県の人口においても検出されたことに意義がある。今回どの分析でも肥満（BMI）が危険因子として選択されなかったのは、鳥取県においては少なくともがん罹患には、肥満の影響が小さいのかもしれない。今回明らかになった要因を丁寧に追いつけ

ることが鳥取県ならではの予防対策につながる可能性がわかった。特別な調査をしなくても既存データを突合し、比較的早く結果が出せる後ろ向きコホート研究の利点を活用できた分析だと言える。この再現性を今後検討していき、検討結果の確実性を増せば、鳥取県のがん罹患対策のメッセージとして使える可能性がある。

### 3. 「鳥取県における若年者（AYA世代）乳癌の特徴」

2008年1月から2020年12月の期間に鳥取大学医学部附属病院で根治手術を行った原発性乳癌1,109症例のうち、15～39歳（AYA世代）の女性乳癌症例46例（両側同時乳癌2例含む44人）について、臨床病理学的因子を後方視的に検討した。統計学的解析は、EZR ver 1.78を用いて行った。

年齢の中央値は36歳で、BMIが小さく標準体型の方が多く、特に肥満の傾向は認められなかった。半数に出産歴あり当院で妊孕性温存を行った症例は3例であった。発見動機は自覚症状が37例（84.1%）と大多数を占めた。

AYA世代乳癌は、文献的には以下の3点の特徴が認められる。すなわち、①ホルモン感受性陰性、HER2陽性といった悪性度の高いサブタイプが多い、②組織学的グレード3や、リンパ管侵襲が多い、③生存期間もその他の世代と比べ、不良である。当院の解析においては、サブタイプの変化は認められなかったが、その他に関しては、同様の結果であった。特に、他施設と比較を一覧表にしてみたが（表6）、本検討ではリンパ節転移・Triple negativeは少ないが、病理学的グレード3やリンパ管侵襲は同様に多く認められ、AYA世代乳癌は腫瘍学的に悪性度が高いと考えられる。

また、AYA世代の女性が乳癌に罹患した際には、結婚、育児、妊孕性、学業就労、将来の不安などさまざまな社会的な問題も抱えており、医療スタッフや行政などによる十分な社会的・経済的支援を行うことも重要となる。鳥

取県においても、乳癌の患者支援は各病院における医療従事者や患者会を中心に進んでおり、癌相談センターなどの窓口も準備されているが、今後は本検討におけるAYA世代の乳癌の臨床病理学的な特徴も意識した継続支援を行っていくことが大切と考えられる。

### 4. 「鳥取県の生活習慣病の特性分析」

鳥取県保険者協議会のデータからは、特定健診受診率がコロナ感染の広がった令和2年度に低下傾向であったが、令和3年度には市町村職員共済を除きほとんどの保険者で復調増加している。被用者保険全体では、受診率72.0%と今までで最高の受診率をマークしている。また従来より受診率が低い被扶養者だが、こちらも地方職員共済を除き令和3年度には上昇に転じ、全体では27.5%となっている。

特定保健指導実施率では、全体で令和1年度、令和2年度の低下が目立ったが、令和3年度には復帰しつつある。保険者別の内訳では、国保ではあまり影響がないが、協会けんぽ、公立学校共済、市町村職員共済、鳥取銀行健保などでの指導実施率低下が著しい。

鳥取県は以前から中高年のがん死亡率が高い。継続した啓発活動や仕組みづくりが重要と考えられる。がんや生活習慣病に伴う心血管疾患のリスクの高い高齢層の多くは、かかりつけ医に通院している。日常的に患者をマネジメントしている医療者側にも啓発を続けることが肝心である。また、外出制限や日常のコミュニケーションの低下などにより虚弱高齢者の増加と介護認定率の上昇など、が懸念されている。特定健診・がん健診の受診率の動向、ならびに、介護認定の推移には、今後も注目しておく必要があると思われる。

### 5. 「根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌症例の死因に関するコホート研究」

鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、および鳥取大学消化器内科で根治できた早期食道癌症例の症例集積、予後調査を行う（後ろ向きコ

ホート研究)。2008年から2016年度までに3施設で内視鏡治療されたSM癌も含む、全ての食道癌のデータを見直し、2022年度末時点での全症例の予後を再調査した。

3施設において2008年後から2016年度までに内視鏡治療された適応外を含む全病変は、鳥取県立中央病院49病変、鳥取県立厚生病院28病変、鳥取大学医学部附属病院178病変の255病変、214症例であった。相対適応病変は33病変、適応外病変も21例含まれていた（それぞれ5例と2例が絶対適応病変症例と重複）。内視鏡治療適応外の理由は深達度SM2以深が11病変、脈管侵襲陽性が13例（3例の重複あり）であった。

患者は平均年齢、年齢中央値ともに69歳、男性188症例（228病変）、女性26症例（27病変）で、飲酒も喫煙もない症例は12例のみで、そのうち9例が女性であった。他癌の併存・合併は83例に認め、最も多かったのが胃癌44例、次いで食道癌42例（治療対象となる同時多発例を含む）、頭頸部癌37例の順であった。基礎疾患で最も多い疾患は高血圧症で100例以上の患者が治療されていた。

2023年3月末における最終の死亡者数は61名であった。このうち5年以内の死亡者数は25名であり、全内視鏡治療症例における5年生存率は87.8%であった。

対象期間中における全症例の患者背景は、平均年齢69歳（年齢中央値70歳）、男性344例、女性57例であった。前向き検討を始めてからの5年間は症例追跡率が高く、1例を除いて全ての症例追跡（死亡例では予後確定）が出来ている。また、年次を経て症例を蓄積していくに従い、食道癌の異時多発病変の増加が更に顕著になってきており、2021年度追加症例61病変の内、12病変10症例が異時性再発病変であった。

## 6. 「鳥取県における不登校児童・生徒の不登校に関連する要因とその対応、経過に関する研究」

鳥取大学医学部附属病院を2022年4月1日～

から2023年2月28日までに不登校を主訴に初回受診（初診）した小学校1年生から中学校3年生までの外来患者を対象に、診療録を調査した。

対象者は中学生が1名と小学生が5名の計6名（男児2名、女児4名）であった。不登校のきっかけは友人関係、本人の失敗体験がそれぞれ1名ずつだった。4名はきっかけが不明であった。いずれの児も学校内で攻撃性の高まりや対人トラブルを起こしたことはなかった。1名は就学の際に前医にて自閉スペクトラム症（ASD）の診断を受け、自閉症・情緒特別支援学級に小学校1年生の時から在籍していたが医療機関受診は途絶えていた。

今年度、不登校を主訴に当科を初回受診した児童は全例ASDであった。昨年度の診療録の後方視的調査では、不登校100名中71名が発達障害がいてあり、その中でもASDが多かった（48名）。ASDの中核的な特性であるコミュニケーション障害が学校生活において対人関係に不安や支障を来しやすいものと思われる。

小児の不安症状は不登校を含む回避行動、反復行動の増加、攻撃性、睡眠障害の悪化、自傷行為などの行動に現れやすいと言われている。

不登校という回避行動となる前に、不安にいかにも早く気づき、スクールカウンセリング等で支援を行うかが重要である。今回の調査では、子どもの発達特性を理解し、家庭や学校での配慮、本人へのカウンセリング、環境調整で登校できるようになる児が多かった。より早期の対応が重要である。

家族の関連要因には、ひとり親2名と養育者の疾患1名、同胞の不登校1名があった。不登校への影響の可能性があり、医療のみでなく福祉や行政の支援が必要と思われる。

## (11) 公衆衛生活動対策専門委員会：岡田委員長報告

### ①健康教育事業

日本海新聞に「健康なんでも相談室鳥取県医

師会Q&A」を掲載。「保健の窓」は鳥取県医師会公開健康講座の講演内容について掲載している。令和4年度は公開健康講座が中止となっており、掲載されていない。日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室・鳥取県医師会Q&A」に一般の人からの疾病に対する質問とその回答を計37回掲載した。令和4年10月からは名称も「健康相談室・鳥取県医師会Q&A」と変更になった。

### ②地域保健対策

鳥取県においては予防、検診から治療まで様々ながん対策に取り組んでいるものの、全国に比較して罹患率が高い状況が続いている。このため令和2年度から、鳥取大学医学部環境予防医学分野 尾崎米厚教授を中心に、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対照研究」を行っている。県内のがん患者及び健常者に対するアンケート調査を実施し、がん予防に活用できる知見を得るための分析を行っている。健常者の登録を終了し、各部位の症例登録を進めており、今後解析を実施していく予定。

### ③生活習慣病対策事業

各地区医師会においても、教育講演会、座談会を開催している。東部では、健康教育講演を13回行い、東部医師会健康スポーツ講演会を行った。中部医師会では「住民健康フォーラム」を行い、参加者は22名であった。また、健康教育講演を32回行った。西部では健康教育講演を29回、健康教育講座を米子市内の公民館で9回、境港市で1回行った。また、鳥取県健康会館において、面談による健康相談を毎月第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科が担当して行っており、11件の相談があった。

(12) 生活習慣病対策専門委員会：谷口委員長報告  
令和元年に「健康寿命の延伸等を図るための脳

卒中、心臓病その他の循環器病に関する対策に関する基本法」が施行され、循環器病対策推進の基本計画を策定した。令和4年度の実施事業として、循環器病に関する一般向け講演会（R4. 10/29）、多職種連携従事者研修会（R4. 11/20）をオンラインで行った。令和5年度の事業案として従来の啓発教育に加え、脳卒中・心臓病等支援センターの設置の検討、遠隔リハビリテーション体制の整備、若年者の心臓検診による健康管理の充実などが提案された。さらに、令和5年度「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」として鳥取大学医学部附属病院が応募され、4月6日付で採択された。

新型コロナ感染による特定健診・がん検診受診率への影響について、令和3年度に比べ、各医療保険者の特定健診受診率は4.0ポイント増加、特定保健指導実施率は3.4ポイント増加した。市町村によるがん検診受診率は令和3年度に比べ、コロナ禍で低下した受診率の復調も認められた。

令和4年度の特定健診受診率は52.0%で、内訳をみると市町村国保は34.5%、被保険者が72.0%、被扶養者は27.5%であり、被扶養者の受診率の低さが目立っている。特定健診のスタートした平成20年度に比べ、鳥取県全体の受診率は24.2ポイントと着実に増加している。

令和3年度の特定保健指導実施率は23.4%であり、前年度比3.5ポイント増加であった。平成20年度11.1%に比べると2倍強の向上である。被用者保険では指導率6割の保険者（鳥取銀行・警察共済）と、それ以外の指導率2～3割の保険者に分かれていた。近年では、市町村共済、地方職員共済、公立学校共済の指導実施率の向上が目立っている。とくに公立学校共済は対面に加えウェブ指導を始めたところ指導実施率が21%増加した。

メタボリックシンドロームの該当者は17%、予備群は12%であった。構成要素としての血圧、血糖値、脂質については、年齢層の高い国保・後期高齢者で判定値異常率が高く、構成層の特性を反映していると考えられた。委員からは、健診では

緊張のため血圧値が高くなりがちのため、家庭血圧値も利用するような検討が必要とのコメントがあった。

### (13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：丸山委員長に代わって坂本理事が報告

鳥取県地域医療支援センターで実施した「県内病院（43病院）における医師数に関する調査（令和3年1月）」によると不足医師数は194人と、多くの診療科において不足数が計上されており、現場の不足感はいまだ解消していない状況であった。

平成18年度より鳥取県医師確保奨学金施策を行っており、平成18年～令和4年度までに、412人に奨学金の貸付を行っている。令和4年度指定勤務期間内医師の配置状況は、自治医科大学卒業医師で21名、鳥取大学特別養成枠卒業医師で30名である。県内の病院の臨床研修医の採用状況は、直近3年間の平均医師数は44名となっており、全国平均より高くなっている。

鳥取県地域医療センターについては令和4年度から体制を強化（医師を1名増員など）しており、地域枠医師のキャリア形成支援等を充実させた。

令和5年度医学部臨時定員（鳥取大学医学部）について、同大学医学部と連携し国に要望を行った結果、令和4年度比+1名となる18名の増員が認められた。（これにより特別養成枠の定員を1名増の6名とした。）また、令和6年度については、臨時増員を暫定的に維持する方針が国から示された。

鳥取大学医学部においては、6年間を通じて地域医療に関連した講義・実習のカリキュラムが組み立てられており、臨床実習においては、地域の医療機関において実習を行っている。鳥取大学医学部地域医療学教室では、研究や教育のサテライトキャンパス機能を持った「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を平成26年6月に日野病院に開設。また平成31年4月には、大山診療所に「鳥取

大学家庭医療教育ステーション」を設置し、地域医療の実践を学習することができている。

また、文部科学省のポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業に採択され、『多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築』として、令和4年度から7年間にわたり岡山大学、鳥根大学、香川大学、鳥取大学の4大学でプロジェクトを実施する。

国立がん研究センターが公表する令和3年の75歳未満がん年齢調整死亡率について、鳥取県男女計の死亡率は、令和3年は68.1（前年68.6）で、前年23位から28位へ順位は落としたものの、前年より数値は改善するとともに、2年連続で県がん対策推進計画の目標値（令和5年死亡率70.0）を達成した。推移を見ると、アップダウンを繰り返しており、改善基調が確かなものか注視が必要である。

### (14) 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会：渡辺会長報告（別記2）

令和4年度の総合部会は令和4年9月29日、令和5年3月9日の2回開催した。

この会では各部部长、専門委員長が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづいて各部会を横断的に問題点について討議を行った。報告内容は別添資料のとおり。

その他、以下の意見があった。

・各がん検診の結果をしてみると、どの部位においてもがん発見者数、がん発見率が減少している。令和3年度は受診者数が回復傾向であるが、がん発見率は増加していない。肺がんでは、令和3年度受診者数が回復しているのは、経年受診者が多い。毎年受診されていた方が戻ってきていると考えられる。非経年受診者は増えていないと考えられ、経年受診者と非経年受診者の解析を各部会で行って欲しい。また、新型コロナウイルスの影響をどのように受けて

いるか、がん発見率や進行がんでの発見の変化があるかデータ解析を行って欲しい。

- ・肺がん検診の医療機関検診受診者が増加しているのは、2つ理由が挙げられる。かかりつけ医で受診することを推進していることと、コロナの影響により集団検診会場に行くことより安心して受診できる、かかりつけ医を選択されることである。

肺がんでは、集団検診と医療機関検診での自己負担額の比較を市町村ごとに行った。自己負担額の差がかなりあり、こういった背景が住民の方の医療機関検診受診に影響を及ぼしている可能性もある。境港市が集団及び医療機関検診を無料にしたところ、受診率が向上した。そういった好事例もあるので、市町村に働きかけて欲しい。

- ・がん検診だけではなく、健康寿命についても対策していくべきである。鳥取県は健康寿命が低く、大きな問題である。鳥取大学医学部で健康寿命延伸に関するフレイル対策を行っている。身体的ロコモフレイル、オーラルフレイル、心のフレイル、生活習慣病対の4本柱で、フレイル対策を行っていき、健康寿命延伸に繋げていく。健対協においても、健康寿命をのばしていくための対策について協議する場が欲しい。

## 2. 令和4年度決算について

廣瀬主事が説明した（別記3、4）。

県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金については、事業の増減によりそれぞれ補正を行った。よって、収入合計額69,623,886円に対し、支出合計額は65,350,674円、収支差引額は4,273,212円となり、令和5年度に繰り越した。

## 3. 令和4年度表彰基金決算書、特別事業積立金について

廣瀬主事が説明した（別記5、6）。

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、毎年の鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総額は169,894円である。

「特別事業積立金」は、定期預金積立金4,046,361円。また、普通預金1,302,218円は令和5年度へ繰り越した。

## 4. 監査報告

宮崎監事より、6月1日監査した結果について適正であった旨の報告があった（別記7）。

令和4年度事業報告、決算書、令和4年度表彰基金決算書及び特別事業積立金について、一括承認した。

## 5. 専門委員会の構成及び専門委員会委員長及び委員の異動、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会等委員について（別記8、9、10、11、12、13、14、15）

鳥取県及び各病院の人事異動等に伴い、一部の委員の委嘱替えを行う。

岡田理事より、専門委員会の構成（別記8）、「健対協各種専門委員会委員名簿（別記9）」、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会並びに各部会委員名簿（別記10～11）」、「鳥取県母子保健対策協議会委員名簿（別記12）」について説明された。

また、「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿（別記13）」、「母子保健対策小委員会委員名簿（別記14）」、「鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会（別記15）」についても、併せて説明された。任期は、令和6年3月31日まで。

上記について、一括承認した。

## 6. 令和5年度事業計画（案）について

各専門委員長より本年度の事業計画について、それぞれ説明され了承された（別記16）。

（1）がん登録対策専門委員会：尾崎委員長に代わって岡田理事が説明

2020年標準集計。罹患集計の結果は医師会報、事業報告、ホームページにて公表する。

全国がん登録届出オンラインシステムの利用手続きが開始され、オンラインによる届出が可能となったことをふまえ、今年度も実施する方向で調整を行っていく。今年度はワーキンググループ会議を開催して、がん登録データの利活用について引き続き検討を行う。また、リスクファクター解析のためのリンク解析についても継続して検討を行う。

令和5年度鳥取県がん登録事業報告書の印刷・配布（継続）。

日本がん登録協議会第32回学術集会参加（青森県青森市）。

（2）胃がん対策専門委員会：謝花委員長に代わって磯本理事が報告

令和5年度は受診者数51,055人で、受診率28.1%の予定である。

働きざかり世代の胃がん対策事業（協会けんぽ鳥取県支部）や市町村と連携して行う胃がん対策事業の報告、及び北栄町と伯耆町の報告などから、データの集積、導入後の効果や問題点等について、引き続き検討をしていく予定である。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催予定である。

（3）子宮がん対策専門委員会：皆川委員長説明

集団検診実施状況の評価、検討（特に精検受診率の向上）を行う。

また、県下統一の合理的な細胞診・HPV検診の導入に向けて検討を行う。

精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状

況評価。

HPVワクチン接種勧奨を行う。

子宮がん検診従事者講習会及び症例検討会を開催予定である。

（4）肺がん対策専門委員会：杉本委員長説明

令和5年度の受診者数は54,405人、受診率は30.0%を予定している。

重点計画としては、徹底した禁煙を推奨し、肺がん罹患率を低下させる。受診率の向上のために引き続き市町村に働きかける。早期がん発見率と陽性反応的中度を向上させて、精度管理を向上させる。読影力の向上を目指した各地区の肺がん検診エックス線勉強会を推進する。肺がん検診発見肺がんの予後調査を継続して行い、肺がん検診が肺がん死亡率の減少に寄与するかどうかを蓄積されたデータの下に解析していく。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催予定である。

（5）乳がん対策専門委員会：山口委員長説明

国の指針で「乳房の自己触診」という言葉は「ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）」という表現に改正されている。「ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）」は、①自身の乳房の状態を知る②乳房の変化に気を付ける③変化に気づいたら医師へ相談する④40歳になったら2年に1度乳がん検診を受ける。という4つのポイントから構成されているが、住民の認知度は十分とは言えず、今後、検診の案内等を通して、言葉のみならず、生活習慣の普及、啓発を行っていく。

検診受診者に乳がん検診の利益・不利益を理解していただくために、具体的な説明内容やパンフレットの作成を検討していく。

未受診者の受診勧奨を行っていく。10月の乳がん月間では新聞広告、ポスターなどを通して乳がん検診、ブレスト・アウェアネスの啓発を行う。令和4年度は東部地区にデジタル読影装置を設置

した。今後、他の地区への導入の検討・働きかけをしていく。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催予定である。

#### (6) 大腸がん対策専門委員会：濱本委員長説明

令和5年度の受診者数は57,252人、受診率は31.6%を予定している。

令和3年度の精検受診率は76.4%で、許容値(70%以上)を超えているものの目標値(90%以上)には到達していない。せっかく検診を受けて便潜血が陽性であるにもかかわらず、精密検査を受けずに大腸がんの早期発見の機会を逃すことの無いよう、精検受診率の向上に向けた取り組みを継続していく。

大腸がん発見がん確定調査個人票の記入漏れのある報告書が提出されることが多いが、記入漏れの無い報告書を提出するように周知徹底を図り、正確な確定調査および統計処理を行う。

逐年検診受診者の進行がん発見症例のほか、留意すべき症例については各地区の症例検討会において問題点の検討を行う。

また、従事者講習会及び症例研究会を東部で開催予定。

#### (7) 肝臓がん対策専門委員会：孝田委員長に代わって岡田理事が説明

令和5年度は国庫事業の肝炎ウイルス検査は16市町村で4,281人、市町村単独事業は8町で1,090人の予定である。

平成7年度より継続して行っている肝臓がん検診により発見されたB型およびC型肝炎ウイルス陽性者に対して、精密医療機関を通じ年2回以上の受診を勧奨する。また、肝炎ウイルス検査の精密受診率が45%程度と低下しており、80%以上の受診率を目標に対策を検討する。特に肝炎医療コーディネーターを育成し、コーディネーターによる啓発活動を推進する。NBNC型肝臓がん対策を継続する。

従事者講習会及び症例研究会を西部地区で開催される鳥取県医学会のランチョンセミナーと併催する予定である。

#### (8) 若年者心臓検診対策専門委員会：吉田委員長説明

委員会を開催し、令和4年度心臓疾患精密検査結果および心電図検診結果の報告と、今後の体制等について検討する。

心臓検診従事者講習会を、令和6年2月頃に、学校医研修会と同日に中部で開催する予定。

第55回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会が、令和6年1月28日に三重県津市で開催され参加する。

#### (9) 母子保健対策専門委員会：難波委員長説明

母子保健に関するデータの効果的・効率的な集計・評価・分析のあり方を検討する。特に市町村間でのデータの差について精査し、今後の母子保健施策について検討する。

平成31年4月から鳥取県産後健康診査事業を開始した。令和2年度から全県で2週間検診及び4週間検診と2回実施されている。参加支援の取り組みを一層強化し、母子保健にかかる切れ目ない支援体制構築を継続する。

就学後の予後調査(サンプル調査)により、5歳児健康診査での指摘は発達特性による就学後の学校生活の困難さに対するスクリーニングとして有用であることが示された。この結果に基づき、昨年度に引き続き母子保健対策小委員会で5歳児健康診査マニュアルの改訂を継続し、母子保健事業の資質の向上を目指した施策を検討する。

鳥取県乳幼児健康診査マニュアルは、令和3年度に厚生労働省より出された改訂版乳幼児健康診査身体診察マニュアルを網羅しているが、一部詳しくすぎる項目等がある。小児科医のみならず、内科医や総合診療医等も対象としたマニュアルにすることを目的に、母子保健対策小委員会において昨年度から2年間の予定で改定版を作成中である。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：瀬川  
委員長説明

①「鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ事業」

2023年度事業では、以下の3事業を2022年度に引き続き並行して行う。

1. 鳥取県内の拠点9病院（鳥取大学、山陰労災病院、米子医療センター、博愛病院、鳥取県済生会境港総合病院、鳥取県立厚生病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取市立病院）において2021年度に診療した初発肝細胞癌（HCC）の成因やサーベイランスの遵守状況を中心とした実態調査を行う。
2. 鳥取市立病院、鳥取赤十字病院、鳥取県済生会境港総合病院、日野病院において「FIB-4 index 2.67以上の糖尿病患者」を対象とした非B非C型（NBNC）HCCのサーベイランスを実現したいと考えている。
3. 特定健康診査、後期高齢者健康診断において生活習慣病により受診勧奨となった住民からのFIB-4を用いた、拾い上げ事業および高リスク群に対する定期検査による肝臓がん検診を日野町、日南町、江府町、伯耆町、南部町において行う。

②「2020年の鳥取県におけるがん罹患情報の特性と鳥取県地域がん登録とKDBデータの連結によるがん罹患要因に関する後ろ向きコホート研究 2020年罹患分」

鳥取県のがん罹患、がん死亡の危険因子を明らかにするために、後ろ向きコホート研究を実施する。曝露要因としては、2014-2016年の特定健康診査の受診の有無と健診結果である。帰結要因（エンドポイント）は、2020年のがん罹患およびがん死亡である。

健診受診の有無は、3回分の健診の受診回数で分類する。複数回の健診受診者は、1回の健診結果のみならず、複数回の健診結果の変化量も変数化できる。これらの指標を用いて、がん罹患、がん死亡に関連する要因を明らかにし、

オッズ比を計算する。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの初年度にあたるので、それががん罹患に与えた影響を検討する。それまでの2017-2019年の3か年の平均的な登録がんの疫学像と2020年の登録がんの疫学像に何らかの差があるかどうかを検討する。これにより、特定の集団がコロナ禍の影響を受けていないかどうかを検討する。

がんの部位別にみた性別、年齢階級別罹患数の比較、鳥取県の東中西部別の比較、がんの進行度、診断経緯、受けた治療などのがん登録情報の比較を行う。2020年度の県内がん検診受診者の減少は認められているので、その影響により、進行度の悪化がないかどうかを検討する。

③「鳥取県における遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）の解析」

遺伝性乳癌卵巣癌（hereditary breast and ovarian cancer：HBOC）は、BRCA1あるいはBRCA2の生殖細胞系列の病的バリエーションに起因する乳癌および卵巣癌をはじめとするがんの易罹患性症候群であり、常染色体顕性遺伝形式を示す。

鳥取県におけるHBOC患者も増加しており、診療方針のコンサルトや遺伝子カウンセリングにも対応する必要がある。現在、鳥取大学医学部附属病院では乳腺外科、女性診療科、遺伝子診療科とメディカルスタッフからなるHBOC診療チームを立ち上げて、HBOC診療にあたっている。この度は鳥取県における疾病構造の地域特性調査として、HBOCの現状と問題点を解析する。

④「根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌の死因に関するコホート研究」

本研究は、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、および鳥取大学消化器内科で2008年度から2016年度までに内視鏡治療で根治できた早期食道癌症例の予後調査を行っていく（後ろ向きコホート研究）。

前向き検討については、2017年度の研究準備期間の症例を後ろ向きの検討に回さないようにする工夫として、エントリー症例は2017年度以降の治療症例で1年は生存していることを条件とした。このように、本研究でも上記科研費の前向き研究症例登録期間と一致させ、データの充実を図りたい。上記の予後調査は各施設での調査と、がん登録のデータベース利用も考えている。これによりかなり正確な情報が入手可能となる。後ろ向き研究により得られた成果（リスク因子情報）も使用しながら、上記期間に登録していく前向き検討症例で、本当にリスク因子となり得るのかを、リスク因子別の生存曲線を解析して検証する（前向きコホート研究）。

⑤「鳥取県における心不全患者の疫学調査—10年間の推移—」

過去10年間の心不全入院患者の特性について調査をおこなう。県内の循環器専門施設の中でも、心不全入院患者数が多く、様々なデータ収集が可能な鳥取大学医学部附属病院循環器内科を、調査の代表施設としてまず探索的研究をおこなう。2012年～2022年の期間、同施設に心不全増悪で入院した患者の年齢、性別、基礎心疾患、併存疾患、治療内容、生活背景、予後などについて10年間の推移を分析し、心不全患者の特性の変化を明らかにする。

⑥【母子保健調査研究】「鳥取県における家族支援の必要な子どもに関する調査研究」

鳥取大学医学部附属病院を受診した不登校児童・生徒の診療録を後方視的に調査し、不登校関連要因と支援内容ならびに経過を調査する。

(11) 公衆衛生活動対策専門委員会：岡田委員長 説明

日本海新聞健康コラム「保健の窓」、「健康相談室・鳥取県医師会Q&A」を継続掲載予定。健康相談も継続実施。

鳥取県医師会公開健康講座の鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」は年16回で、

7回を生活習慣病セミナーにあて、東中西の3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施する予定。

各地区の健康教育活動も継続実施。

地域保健対策は、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対象研究」を行う。

(12) 生活習慣病対策専門委員会：谷口委員長説明

委員会の開催2回予定である。令和5年度は、国の循環器病対策推進基本計画の見直しの時期となっている。それに合わせて鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）等、関連する他計画と同様に鳥取県循環器病対策推進計画も令和5年度中に見直しを行っていく。今後は、鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会等により、計画素案を策定し、年明けにパブリックコメント、来年度施行を目指す。また、「鳥取県循環器病対策推進計画」に掲げる個別施策「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」および「社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援」を推進することを目的とし、心疾患並びに脳血管疾患それぞれについて、一般県民向け講演会と多職種連携を目的とした従事者研修会を開催する予定である。

特定健康診査について、令和4年度の被用者保険組合および市町村国保組合における健診結果の分析および評価を行う。受診率向上に向けて、とくに受診率の低い保険者や市町村に対して啓発を続ける。

特定保健指導について、令和4年度の保健指導実施状況を把握し、その問題点についての評価を行う。鳥取県ではコロナ禍も鎮静しつつあり指導実施率が上昇しているが、被扶養者の保健指導率は低い。ウェブや電話を活用したりリモート指導の工夫が必要と思われる。

(13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：坂本委員長説明

委員会を1回開催予定。

鳥取県が鳥取大学医学部などに設けている地域枠等の学生が次々と医療現場での勤務を始めてきており、これら奨学金の貸与を受けた医師を含め、県内に定着する医師のキャリア形成を支援し鳥取県内の地域医療の充実が図られるよう、研修・育成体制について引き続き意見交換を行う。

また、がん対策について、関係する各指標等のデータ分析やがん登録データとKDBデータの連結によるがん罹患原因分析など、がん死亡率減少に向けた施策に関して意見交換するとともに、令和4年度に行った県民健康栄養調査、歯科疾患実態調査等の結果を踏まえ、生活習慣病対策を中心に県民の健康情報に関わる課題について情報共有していく。

県内における医師の需給状況等を踏まえた上で、鳥取大学医学部の地域枠等の奨学金を受けている学生、医師の現況を報告するとともに、今後の地域医療を担う医師のキャリア支援の進め方について議論していく。また、次期県医師確保計画(R6～R11)の策定状況について情報共有及び意見交換を行う。

令和3年度数値が全国28位となった「がん75歳未満年齢調整死亡率」に関する詳細な検討を行いながら、令和2年度より取組を始めたがん登録

データとKDBデータ連結による罹患原因分析等について情報共有することで、がん死亡率減少に向けた効果的な施策の進め方について意見交換を行う。

また、令和5年度においては、次期鳥取県がん対策推進計画の策定に向けて、令和4年度に行った県民健康栄養調査、歯科疾患実態調査等の結果を踏まえ、がんを中心とした県民の大きな健康課題である生活習慣病対策に関わる健康情報全般について、議論していく。

## 7. 令和5年度予算(案)について

廣瀬主事より説明があり、承認された(別記17、18、19)。

健対協予算は前年度と同様に県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金、県医師会補助金、繰越金を含む諸収入である。令和5年度予算総額は77,511千円で、前年度より2,445千円増額予算である。

特別会計予算において、積立金を取崩し、各地区読影会に設置する「肺がん検診エックス線読影機器」一式に係る購入費用に432万円を充てることが承認された。

令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について、一括承認した。

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ(<https://www.tottori.med.or.jp>)のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→「鳥取県健康対策協議会」

<https://www.kentaikyou.tottori.med.or.jp>



# 令和5年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

(敬称略／順不同)

|     |                                     |     |                                   |
|-----|-------------------------------------|-----|-----------------------------------|
| 会 長 | 渡辺 憲 (県 医 師 会 長)                    | 理 事 | 太田 匡彦 (県 医 師 会 理 事)               |
| 副会長 | 景山 誠二 (鳥取大学医学部長) <sup>※1</sup>      | 〃   | 岡田 隆好 ( 〃 )                       |
| 〃   | 中西 眞治 (県福祉保健部長兼<br>ささえあい福祉局長)       | 〃   | 來間 美帆 ( 〃 )                       |
| 理 事 | 広瀬 龍一 (県病院局病院事業管理者)                 | 〃   | 橋田祐一郎 ( 〃 )                       |
| 〃   | 中西 朱実 (県子ども家庭部長) <sup>※3</sup>      | 〃   | 武中 篤 (鳥取大学医学部附属病院長) <sup>※1</sup> |
| 〃   | 坂本 裕子 (県健康医療局長) <sup>※1</sup>       | 〃   | 中村 廣繁 (鳥取大学医学部教授)                 |
| 〃   | 山崎 利幸 (県健康医療局健康政策課長) <sup>※1</sup>  | 〃   | 谷口 晋一 ( 〃 )                       |
| 〃   | 福井 恒 (県健康医療局医療政策課長) <sup>※1</sup>   | 〃   | 尾崎 米厚 ( 〃 )                       |
| 〃   | 米田 裕一 (県健康医療局医療・保険課長)               | 〃   | 山本 一博 ( 〃 )                       |
| 〃   | 山根 仁子 (県健康医療局健康政策課<br>がん・生活習慣病対策室長) | 〃   | 永島 英樹 ( 〃 ) <sup>※2</sup>         |
| 〃   | 廣岡 保明 (県立中央病院長) <sup>※2</sup>       | 〃   | 磯本 一 ( 〃 )                        |
| 〃   | 藤井 秀樹 (県保健所長会長)                     | 〃   | 難波 範行 ( 〃 )                       |
| 〃   | 石谷 暢男 (東 部 医 師 会 長)                 | 〃   | 谷口 文紀 ( 〃 ) <sup>※1</sup>         |
| 〃   | 安梅 正則 (中 部 医 師 会 長)                 | 〃   | 皆川 幸久 (鳥取県保健事業団<br>総合保健センター所長)    |
| 〃   | 根津 勝 (西 部 医 師 会 長)                  | 〃   | 孝田 雅彦 (日 野 病 院 長)                 |
| 〃   | 清水 正人 (県 医 師 会 副 会 長)               | 〃   | 濱本 哲郎 (博愛病院院長特別補佐)                |
| 〃   | 小林 哲 ( 〃 )                          | 〃   | 杉本 勇二 (県立中央病院副院長)                 |
| 〃   | 岡田 克夫 (県 医 師 会 常 任 理 事)             | 〃   | 吉田 泰之 (県立中央病院副院長)                 |
| 〃   | 瀬川 謙一 ( 〃 )                         | 〃   | 謝花 典子 (山陰労災病院顧問)                  |
| 〃   | 辻田 哲朗 ( 〃 )                         | 〃   | 山口 由美 (鳥取赤十字病院部長)                 |
| 〃   | 三上 真顯 ( 〃 )                         | 監 事 | 山崎 大輔 (県 医 師 会 監 事)               |
| 〃   | 秋藤 洋一 ( 〃 )                         | 〃   | 宮崎 聡 ( 〃 )                        |
| 〃   | 松田 隆 ( 〃 )                          |     |                                   |

※1 令和5年4月1日付けで就任

※2 県医師会理事

※3 県の新たな組織体制が7月28日にスタートすることに伴い、子育て・人財局が「子ども家庭部」となった。

## 令和4年度鳥取県健康対策協議会事業報告

( )の数字は令和4年度決算額

(単位:円)

## 1. がん登録対策専門委員会【委員長:尾崎米厚(鳥大医社会医学講座環境予防医学教授)】

| 事業内容  | 摘要  |
|---|---|
| 1. 平成31年(2019年)がん罹患・受療状況標準集計<br>2. 補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録<br>3. 「全国がん登録データベースシステム」運用・オンライン届出の研修会(資料の配付)及び利活用<br>(6,943,358) | 1. 日本がん登録全国協議会第31回学術集会参加(長野県・Web開催)<br>2. 「鳥取県がん登録事業報告書(平成31年(令和元年)集計)」作成 |

## 2. 胃がん対策専門委員会【委員長:謝花典子(山陰労災病院消化器内科顧問)】

| 事業内容  | 摘要  |
|---|---|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査<br>3. 胃がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理<br>5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影<br>6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討<br>(4,041,411) | 1. 各地区読影委員会設置<br>2. 従事者講習会及び症例研究会(東部)<br>3. 第53回日本消化器がん検診学会中国四国地方会参加(鳥根県 出雲市) |

## 3. 子宮がん対策専門委員会【委員長:皆川幸久(鳥取県立厚生病院長)】

| 事業内容   | 摘要  |
|--|---|
| 1. 集団(車検診)検診実施状況の評価、検討<br>2. 検診発見がん患者の確定調査<br>3. 改訂後の精密検査紹介状及び確定調査結果報告様式の運用状況評価<br>4. 若年者の受診率向上対策<br>5. 県下統一の合理的な細胞診・HPV併用検診の導入に向けた検討<br>(1,071,219) | 1. 従事者講習会及び症例検討会(東部)<br>2. 子宮がん検診細胞診委員会設置 |

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：杉本勇二（鳥取県立中央病院副院長）】

| 事業内容   | 摘要   |
|--|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 精密検査による肺がん確定診断の調査<br>3. 肺がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 肺がん医療機関検診実施<br>5. デジタル化に伴う読影<br>6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策<br>(21,517,926) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）<br>2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置<br>3. 肺がん個別検診読影委員会設置 |

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

| 事業内容  | 摘要  |
|---|---|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録<br>3. 乳がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証<br>5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用<br>6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成<br>(13,297,287) | 1. 従事者講習会及び症例検討会（東部；ハイブリッド開催）<br>2. 各地区症例検討会<br>3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置 |

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院副院長）】

| 事業内容  | 摘要   |
|---|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 検診発見大腸がん患者の確定調査<br>3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録<br>(463,516) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）<br>2. 大腸がん注腸読影委員会設置<br>3. 大腸がん検診読影講習会<br>4. 大腸がん注腸読影指導会 |

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

| 事業内容  | 摘要                   |
|---|----------------------|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録<br>3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査<br>(419,777) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） |

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

| 事業内容  | 摘要   |
|---|--|
| 1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策<br>2. 心電図判読<br>(3,904,508) | 1. 各地区判読委員会設置<br>2. 心臓検診従事者講習会（中部）<br>3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会（高知県高知市） |

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥大医統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

| 事業内容   | 摘要              |
|--|-----------------|
| 1. 母子保健事業の評価<br>2. 新生児マス・スクリーニングについて<br>3. 乳幼児健康診査について<br>4. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始）<br>(348,751) | 1. 母子保健対策小委員会開催 |

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会常任理事）】

| 事業内容  | 摘要                              |
|---|---------------------------------|
| 1. 特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患拾い上げ研究等（5項目）<br>2. 母子保健調査研究<br>(2,976,368) | 1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第36集）」発行 |

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

| 事業内容  | 摘要                                     |
|---|--|
| 1. 健康教育対策<br>2. 地域保健対策<br>3. 生活習慣病対策<br>(1,789,820) | 1. 生活習慣病対策セミナー<br>2. 「がん症例対照研究」アンケート調査 |

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥大医地域医療学講座教授）】

| 事業内容   | 摘要   |
|--|--|
| 1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討<br>2. 慢性腎臓病対策事業の検討<br>(498,700) | 1. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（2回；Web開催）<br>2. 循環器病に関する一般向け講演会、多職種連携従事者研修会開催（2回；Web開催） |

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：丸山真治（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

| 事業内容  | 摘要 |
|---|----|
| 1. 地域医療の充実についての検討<br>2. 健康情報等の解析状況と今後の施策についての検討<br>(81,438) |    |

## 令和4年度総合部会記録

部会長 渡 辺 憲

令和4年度の生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会を令和4年9月29日、令和5年3月9日の2回開催した。

この会において、各部会長、専門委員長が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづき、各部会を横断的に、課題について討議を行った。

- 1) 令和元年度から3年度の受診者数、受診率を各部位ごとに比較した。いずれの部位も、令和元年度（コロナ前）までは回復していないが、令和元年度より令和2年度にかけて減少した受診者数は、令和3年度は増加に転じており、特に子宮がん検診、肺がん検診で増加率が高かった。集団検診と医療機関検診での検診を比較すると、医療機関検診の方が回復傾向が大きい。令和3年度各がん検診のプロセス指標と市町村の実績値との比較では、受診率は、圏域ごとに大きな差はない。精検受診率では、乳がんが94.8%と許容値を上回っていた。肺がんは89.6%と許容値の90%をわずかに下回った。がん発見率は、おおむね許容値を超えていた。
- 2) 特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度と比較すると、約1.04%の増、特定保健指導の実施率は2.8%の増で、コロナ以前よりも健診受診率、特定保健指導の実施率はともに増加した。受診率は過去5年間で最高値であった。令和3年度特定健診・特定保健指導実施状況は、特定健診受診率は52.0%で前年度と比較して3.9ポイント増、特

定保健指導実施率は22.6%で前年度と比較して3.38ポイントの増であった。

- 3) 各がん検診従事者講習会は、令和4年度は大雪の影響により急遽ハイブリッド開催となった部位もあるが、基本的には参集で開催した。令和5年度からは、消化器系など参加者が重複する部位の従事者講習会の同日開催や、冬だけではなく他の季節に時期をずらして開催する等、各部会の先生方と相談しながら開催方法について検討していく。
- 4) 令和3年10月1日に国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が一部改正され、「がん検診の対象者自身が、がん検診の利益・不利益を考慮した上で受診を検討することが望ましい」との記載が追加された。本県でも、各がん検診実施の手引きにこの旨を追加するため協議している。今後周知していくにあたり、がん検診の利益・不利益の具体的な説明内容について各部会において協議した。
- 5) 国立がん研究センターが令和3年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。鳥取県の男女計の死亡率は、令和3年は68.1（前年68.6）で28位（前年23位）となり、2年連続で、県がん対策推進計画の目標値（令和5年死亡率70.0未満）を達成した。鳥取県は母数となる人口が少なく死亡率の変化が大きくなる傾向があるので、今後も推移を注視していく。

(参 考)

令和3年度実績、令和4年度実績（中間）、令和5年度計画について

(単位：人 %)

| 区 分                   |                                      | 国指標                       | 令和3年度実績              | 令和4年度実績見込     | 令和5年度計画       |               |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|
| 胃<br>が<br>ん<br>検<br>診 | 対 象 者 数 (人)                          |                           | 181,414              | 181,414       | 181,414       |               |
|                       | 受診者                                  | X 線 検 査 (人・率)             |                      | 7,943 ( 4.4)  | 8,475 ( 4.7)  | 8,846 ( 4.9)  |
|                       |                                      | 内 視 鏡 検 査 (人・率)           |                      | 40,801 (22.5) | 40,407 (22.3) | 42,209 (23.3) |
|                       |                                      | 合 計 (人・率)                 | 目標値50%達成             | 48,744 (26.9) | 48,882 (26.9) | 51,055 (28.1) |
|                       | X<br>線<br>検<br>査                     | 要 精 検 者 数 (人)             |                      | 540           |               |               |
|                       |                                      | 要 精 検 率 (%)               | 許容値11.0%以下           | 6.8           |               |               |
|                       |                                      | 精 密 検 査 受 診 者 数 (人)       |                      | 452           |               |               |
|                       |                                      | 精 検 受 診 率 (%)             | 許容値70%以上<br>目標値90%以上 | 83.7          |               |               |
|                       |                                      | 検診発見がんの者(がんの疑い)           |                      | 129 (49)      |               |               |
|                       |                                      | 検 診 発 見 が ん 率 (%)         | 許容値0.11%以上           | 0.26          |               |               |
|                       |                                      | 陽 性 反 応 適 中 度 ( X 線 検 査 ) | 許容値1.0%以上            | 1.48          |               |               |
|                       |                                      | 確定調査結果(確定癌数・率)            |                      | 130 (0.27)    |               |               |
|                       | 子<br>宮<br>頸<br>部<br>が<br>ん<br>検<br>診 | 対 象 者 数 (人)               |                      | 121,933       | 121,933       | 121,933       |
| 受 診 者 数 (人)           |                                      |                           | 30,942               | 32,198        | 33,683        |               |
| 受 診 率 (%)             |                                      | 目標値50%達成                  | 25.4                 | 26.4          | 27.6          |               |
| 要 精 検 者 数 (人)         |                                      |                           | 369                  |               |               |               |
| 判 定 不 能 者 数 (人)       |                                      |                           | 18                   |               |               |               |
| 要 精 検 率 (%)           |                                      | 許容値1.4%以下                 | 1.19                 |               |               |               |
| 精 検 受 診 者 数 (人)       |                                      |                           | 297                  |               |               |               |
| 精 検 受 診 率 (%)         |                                      | 許容値70%以上<br>目標値90%以上      | 80.5                 |               |               |               |
|                       |                                      | 検診発見がんの者(がんの疑い)           |                      | 2 (118)       |               |               |
|                       |                                      | 検 診 発 見 が ん 率 (%)         | 許容値0.05%以上           | 0.01          |               |               |
|                       |                                      | 陽 性 反 応 適 中 度             | 許容値4.0%以上            | 0.5           |               |               |
|                       | 確定調査結果(確定癌数・率)                       |                           | 2 (0.01)             |               |               |               |
| 肺<br>が<br>ん<br>検<br>診 | 対 象 者 数 (人)                          |                           | 181,414              | 181,414       | 181,414       |               |
|                       | 受 診 者 数 (人)                          |                           | 53,894               | 53,822        | 54,405        |               |
|                       | 受 診 率 (%)                            | 目標値50%達成                  | 29.7                 | 29.7          | 30.0          |               |
|                       | 要 精 検 者 数 (人)                        |                           | 1,963                |               |               |               |
|                       | 要 精 検 率 (%)                          | 許容値3.0%以下                 | 3.64                 |               |               |               |
|                       | 精 検 受 診 者 数 (人)                      |                           | 1,759                |               |               |               |
|                       | 精 検 受 診 率 (%)                        | 許容値70%以上<br>目標値90%以上      | 89.6                 |               |               |               |
|                       |                                      | 検診発見がんの者(がんの疑い)           |                      | 24 (90)       |               |               |
|                       |                                      | 検 診 発 見 が ん 率 (%)         | 許容値0.03%以上           | 0.04          |               |               |
|                       |                                      | 陽 性 反 応 適 中 度             | 許容値1.3%以上            | 1.2           |               |               |
|                       |                                      | 確定調査結果(確定癌数・率)            |                      | 41            |               |               |
|                       |                                      | 上記のうち原発性肺がん数・率            |                      | 38 (0.08)     |               |               |

| 区 分                        |                   | 国指標                  | 令和3年度実績  | 令和4年度実績見込 | 令和5年度計画 |         |         |
|----------------------------|-------------------|----------------------|----------|-----------|---------|---------|---------|
| 乳<br>が<br>ん<br>検<br>診      | 対 象 者 数 (人)       |                      | 109,121  | 109,121   | 109,121 |         |         |
|                            | 受 診 者 数 (人)       |                      | 17,631   | 18,403    | 19,537  |         |         |
|                            | 受 診 率 (%)         | 目標値50%達成             | 16.2     | 16.9      | 17.9    |         |         |
|                            | 要 精 検 者 数 (人)     |                      | 1,108    | /         | /       |         |         |
|                            | 要 精 検 率 (%)       | 許容値11.0%以下           | 6.28     |           |         |         |         |
|                            | 精 検 受 診 者 数 (人)   |                      | 1,050    |           |         |         |         |
|                            | 精 検 受 診 率 (%)     | 許容値80%以上<br>目標値90%以上 | 94.8     |           |         |         |         |
|                            | 検診発見がんの者(がんの疑い)   |                      | 78 (6)   |           |         |         |         |
|                            | 検 診 発 見 が ん 率 (%) | 許容値0.23%以上           | 0.44     |           |         |         |         |
|                            | 陽 性 反 応 適 中 度     | 許容値2.5%以上            | 7.04     |           |         |         |         |
| 確定調査結果(確定癌数・率)             |                   | 78 (0.44)            |          |           |         |         |         |
| 大<br>腸<br>が<br>ん<br>検<br>診 | 対 象 者 数 (人)       |                      | 181,414  |           |         | 181,414 | 181,414 |
|                            | 受 診 者 数 (人)       |                      | 53,884   |           |         | 55,249  | 57,252  |
|                            | 受 診 率 (%)         | 目標値50%達成             | 29.7     | 30.5      | 31.6    |         |         |
|                            | 要 精 検 者 数 (人)     |                      | 4,143    | /         | /       |         |         |
|                            | 要 精 検 率 (%)       | 許容値7.0%以下            | 7.7      |           |         |         |         |
|                            | 精 検 受 診 者 数 (人)   |                      | 3,165    |           |         |         |         |
|                            | 精 検 受 診 率 (%)     | 許容値70%以上<br>目標値90%以上 | 76.4     |           |         |         |         |
|                            | 検診発見がんの者(がんの疑い)   |                      | 144 (12) |           |         |         |         |
|                            | 検 診 発 見 が ん 率 (%) | 許容値0.13%以上           | 0.27     |           |         |         |         |
|                            | 陽 性 反 応 適 中 度     | 許容値1.9%以上            | 3.48     |           |         |         |         |
| 確定調査結果(確定癌数・率)             |                   | 153 (0.28)           |          |           |         |         |         |

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

( )内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌者(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

(1) 令和3年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

| 区 分      | 対象者数    | 受診者数  | 受診率  | HBs<br>陽性者 | HCV<br>陽性者 | HBs<br>陽性率 | HCV<br>陽性率 |
|----------|---------|-------|------|------------|------------|------------|------------|
| 肝炎ウイルス検査 | 205,176 | 4,458 | 2.2% | 75         | 12         | 1.3%       | 0.3%       |

(精密検査)

| 区 分      | 要精検者数 | 精検受診者数 | 精検受診率 | 肝臓がん | 肝臓がん疑い | がん発見率 |
|----------|-------|--------|-------|------|--------|-------|
| 肝炎ウイルス検査 | 68    | 39     | 57.4  | 0    | 0      | 0.00% |

令和4年度実績見込み4,040人、令和5年度計画4,281人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

(単位：人%)

| 区 分         | 健康指導<br>対象者 | 定期検査<br>受診者数 | 定期検査結果        |             |            |            |
|-------------|-------------|--------------|---------------|-------------|------------|------------|
|             |             |              | 慢性肝炎          | 肝硬変         | 肝臓がん       | がん疑い       |
| B型肝炎ウイルス陽性者 | 2,510       | 892          | 138<br>(15.5) | 10<br>(1.1) | 8<br>(0.9) | 1<br>(0.1) |
| C型肝炎ウイルス陽性者 | 797         | 323          | 46<br>(14.2)  | 7<br>(2.2)  | 6<br>(1.9) | 1<br>(0.3) |

別記(3)

令和4年度鳥取県健康対策協議会決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

| 款 項 目                          | 予算額        | 補正額        | 予算現額       | 収入済額       | 増△減 | 摘 要  |
|--------------------------------|------------|------------|------------|------------|-----|--|
| 1. 県 支 出 金                     | 23,273,000 | △1,779,600 | 21,493,400 | 21,493,400 | 0   |  |
| 1) 委 託 金                       | 19,596,000 | △1,779,600 | 17,816,400 | 17,816,400 | 0   |  |
| (1) がん登録及び解析<br>評価事業費委託金       | 7,242,000  | △ 320,410  | 6,921,590  | 6,921,590  | 0   | 委託金6,292,355円<br>+消費税629,235円  |
| (2) 県民健康対策調査<br>研究事業費委託金       | 2,973,000  | 0          | 2,973,000  | 2,973,000  | 0   | 委託金2,702,728円<br>+消費税270,272円  |
| (3) 健康診査管理支援<br>事業費委託金         | 2,837,000  | △712,437   | 2,124,563  | 2,124,563  | 0   | 委託金1,931,421円<br>+消費税193,142円  |
| (4) 生活習慣病予防セミナー<br>開催事業費委託金    | 1,450,000  | 0          | 1,450,000  | 1,450,000  | 0   | 委託金1,318,182円<br>+消費税131,818円  |
| (5) がん検診精度確保<br>事業費委託金         | 3,704,000  | △537,564   | 3,166,436  | 3,166,436  | 0   | 委託金2,878,579円<br>+消費税287,857円  |
| (6) 肝臓がん検診従事者<br>講習会開催等事業費委託金  | 293,000    | 0          | 293,000    | 293,000    | 0   | 委託金266,364円<br>+消費税26,636円   |
| (7) 肺がん医療機関検診読影<br>委員会開催事業費委託金 | 603,000    | 0          | 603,000    | 603,000    | 0   | 委託金548,182円<br>+消費税54,818円   |
| (8) 母子保健推進体制<br>整備事業費委託金       | 494,000    | △209,189   | 284,811    | 284,811    | 0   | 委託金258,920円<br>+消費税25,891円   |
| 2) 県 負 担 金                     | 3,677,000  | 0          | 3,677,000  | 3,677,000  | 0   |  |
| (1) 事務局強化対策<br>金               | 3,677,000  | 0          | 3,677,000  | 3,677,000  | 0   |  |
| 2. 鳥取県保健事業団支出金                 | 21,488,000 | △3,094,904 | 18,393,096 | 18,393,096 | 0   |  |
| 1) 委 託 金                       | 21,088,000 | △3,094,904 | 17,993,096 | 17,993,096 | 0   |  |
| (1) 胃集検読影<br>事業費委託金            | 4,400,000  | △1,048,960 | 3,351,040  | 3,351,040  | 0   | @440×7616件<br>(消費税等込み)   |
| (2) 子宮がん検診<br>事業費委託金           | 1,016,000  | △232,030   | 783,970    | 783,970    | 0   | { 細胞診1次直接塗抹法<br>@440×20件=8,800円<br>細胞診1次LBC法<br>@330×606件=199,980円<br>最終判定<br>@990×581件=575,190円<br>(消費税等込み) |
| (3) 肺がん検診<br>事業費委託金            | 5,112,000  | △952,944   | 4,159,056  | 4,159,056  | 0   | { フィルム読影料<br>@121×32,546件=3,938,066円<br>細胞診1次<br>@440×500件=220,000円<br>最終判定<br>@990×1件=990円<br>(消費税等込み)      |
| (4) 乳がん検診<br>事業費委託金            | 6,160,000  | △405,790   | 5,754,210  | 5,754,210  | 0   | { マンモグラフィ読影料<br>@770×7,473件<br>(消費税等込み)  |
| (5) 若年者心臓検診<br>事業費委託金          | 4,400,000  | △455,180   | 3,944,820  | 3,944,820  | 0   | { @220×17,931件=3,944,820円<br>(消費税等込み)  |
| 2) 補 助 金                       | 400,000    | 0          | 400,000    | 400,000    | 0   |  |
| (1) 各専門委員会連絡<br>調整補助金          | 400,000    | 0          | 400,000    | 400,000    | 0   |  |

| 款 項 目                   | 予算額        | 補正額        | 予算現額       | 収入済額       | 増△減    | 摘 要  |
|-------------------------|------------|------------|------------|------------|--------|--|
| 3. 市町村等支出金              | 23,485,000 | △504,240   | 22,980,760 | 22,980,760 | 0      |  |
| 1) 市町村委託金               | 23,485,000 | △504,240   | 22,980,760 | 22,980,760 | 0      |  |
| (1) 肺がん医療機関検診<br>事業費委託金 | 15,400,000 | 278,080    | 15,678,080 | 15,678,080 | 0      | @440×35,632件=15,678,080円<br>(消費税等込み)         |
| (2) 乳がん検診<br>事業費委託金     | 8,085,000  | △782,320   | 7,302,680  | 7,302,680  | 0      | @770×9,484件=7,302,680円<br>(消費税等込み)           |
| 4. その他委託金               | 649,000    | △60,126    | 588,874    | 588,874    | 0      |  |
| 1) 委 託 金                | 649,000    | △60,126    | 588,874    | 588,874    | 0      | いなば財団<br>(@220×1,153件=253,660円<br>(消費税等込み))  |
| (1) 若年者心臓検診<br>事業費委託金   | 220,000    | 86,240     | 306,240    | 306,240    | 0      | 岩美病院<br>(@220×239件=52,580円<br>(消費税等込み))      |
| (2) 胃集検読影<br>事業費委託金     | 220,000    | △100,320   | 119,680    | 119,680    | 0      | 中国労働衛生協会<br>(@440×272件=119,680円<br>(消費税等込み)) |
| (3) 肺がん検診<br>事業費委託金     | 132,000    | △17,556    | 114,444    | 114,444    | 0      | 中国労働衛生協会<br>(@132×867件=114,444円<br>(消費税等込み)) |
| (4) 乳がん検診<br>事業費委託金     | 77,000     | △28,490    | 48,510     | 48,510     | 0      | 中国労働衛生協会<br>(@770×63件=48,510円<br>(消費税等込み))   |
| 5. 県医師会補助金              | 1,300,000  | 0          | 1,300,000  | 1,300,000  | 0      |  |
| 1) 県医師会補助金              | 1,300,000  | 0          | 1,300,000  | 1,300,000  | 0      |  |
| (1) 運営費補助金              | 1,300,000  | 0          | 1,300,000  | 1,300,000  | 0      |  |
| 6. 寄 付 金                | 1,000      | 0          | 1,000      | 0          | △1,000 |  |
| 1) 寄 付 金                | 1,000      | 0          | 1,000      | 0          | △1,000 |  |
| (1) 寄 付 金               | 1,000      | 0          | 1,000      | 0          | △1,000 |  |
| 7. 諸 収 入                | 31,000     | 0          | 31,000     | 28,544     | △2,456 |  |
| 1) 預 金 利 子              | 1,000      | 0          | 1,000      | 147        | △853   |  |
| (1) 預 金 利 子             | 1,000      | 0          | 1,000      | 147        | △853   |  |
| 2) 労働者保険料<br>被保険者負担分収入  | 30,000     | 0          | 30,000     | 28,397     | △1,603 | 労働保険料事業主立替分収入                                |
| (1) 労働者保険料<br>被保険者負担分収入 | 30,000     | 0          | 30,000     | 28,397     | △1,603 |  |
| 8. 繰 越 金                | 4,839,000  | 0          | 4,839,000  | 4,839,212  | 212    |  |
| 1) 前年度繰越金               | 4,839,000  | 0          | 4,839,000  | 4,839,212  | 212    |  |
| (1) 前年度繰越金              | 4,839,000  | 0          | 4,839,000  | 4,839,212  | 212    |  |
| 収 入 合 計                 | 75,066,000 | △5,438,870 | 69,627,130 | 69,623,886 | △3,244 |  |

〈支出の部〉

(単位：円)

| 款 項 目                                   | 予 算 現 額    |            |      |            | 支出済額       | 不用額       | 摘 要  |
|---|------------|------------|------|------------|------------|-----------|--|
|   | 予算額        | 補正額        | 流用増減 | 計          |            |           |  |
| 1. 総 務 費                                | 5,220,000  | 0          | 0    | 5,220,000  | 5,091,590  | 128,410   |  |
| 1) 会 議 費                                | 738,000    | 0          | 0    | 738,000    | 641,513    | 96,487    |  |
| (1) 理 事 会 費                             | 738,000    | 0          | 0    | 738,000    | 641,513    | 96,487    |  |
| 2) 各 専 門 委 員 会 費                        | 1,245,000  | 0          | 0    | 1,245,000  | 1,216,237  | 28,763    |  |
| (1) 各 専 門 委 員 会 費                       | 1,245,000  | 0          | 0    | 1,245,000  | 1,216,237  | 28,763    |  |
| 3) 給 料                                  | 2,316,000  | 0          | 0    | 2,316,000  | 2,316,000  | 0         |  |
| (1) 給 料                                 | 2,316,000  | 0          | 0    | 2,316,000  | 2,316,000  | 0         |  |
| 4) 納 税 申 告 作 成 費                        | 316,000    | 0          | 0    | 316,000    | 312,840    | 3,160     | 健康対策費のうち以下の項目で公租公課費2,534,800円支出                          |
| (1) 消 費 税 申 告 作 成 費                     | 78,000     | 0          | 0    | 78,000     | 77,110     | 890       | 胃がん対策費   |
| (2) 会 計 ・ 給 料 シ ス テ ム レ シ ョ ン 料         | 238,000    | 0          | 0    | 238,000    | 235,730    | 2,270     | ※ 100,000円<br>子宮がん対策費<br>20,000円<br>肺がん対策費<br>1,701,223円 |
| 5) 公 租 公 課 費                            | 605,000    | 0          | 0    | 605,000    | 605,000    | 0         | 乳がん対策費<br>669,000円<br>若年者心臓検診対策費<br>44,577円              |
| (1) 公 租 公 課 費                           | 605,000    | 0          | 0    | 605,000    | 605,000    | 0         | 計2,534,800円<br>合計3,139,800円                              |
| 2. 健 康 対 策 費                            | 69,846,000 | △5,438,870 | 0    | 64,407,130 | 60,259,084 | 4,148,046 |  |
| 1) が ん 登 録 費                            | 7,395,000  | △320,410   | 0    | 7,074,590  | 6,943,358  | 131,232   |  |
| (1) が ん 登 録 費                           | 7,395,000  | △320,410   | 0    | 7,074,590  | 6,943,358  | 131,232   |  |
| 2) 胃 が ん 対 策 費                          | 5,230,000  | △1,149,280 | 0    | 4,080,720  | 4,041,411  | 39,309    |  |
| (1) 胃 が ん 対 策 費                         | 5,230,000  | △1,149,280 | 0    | 4,080,720  | 4,041,411  | 39,309    | ※公租公課費<br>100,000円                                       |
| 3) 子 宮 が ん 対 策 費                        | 1,433,000  | △232,030   | 0    | 1,200,970  | 1,071,219  | 129,751   |  |
| (1) 子 宮 が ん 対 策 費                       | 1,433,000  | △232,030   | 0    | 1,200,970  | 1,071,219  | 129,751   | ※公租公課費<br>20,000円  |
| 4) 肺 が ん 対 策 費                          | 24,709,000 | △692,420   | 0    | 24,016,580 | 21,517,926 | 2,498,654 |  |
| (1) 肺 が ん 対 策 費                         | 24,106,000 | △692,420   | 0    | 23,413,580 | 20,914,926 | 2,498,654 | ※公租公課費<br>1,701,223円                                     |
| (2) 肺 が ん 医 療 機 関 検 診 読 影 委 員 会 対 策 費   | 603,000    | 0          | 0    | 603,000    | 603,000    | 0         |  |
| 5) 乳 が ん 対 策 費                          | 15,613,000 | △1,793,240 | 0    | 13,819,760 | 13,297,287 | 522,473   |  |
| (1) 乳 が ん 対 策 費                         | 14,813,000 | △1,255,676 | 0    | 13,557,324 | 13,034,851 | 522,473   | ※公租公課費<br>669,000円                                       |
| (2) マ ン モ グ ラ フ ィ 読 影 医 師 資 格 更 新 助 成 費 | 800,000    | △537,564   | 0    | 262,436    | 262,436    | 0         |  |
| 6) 大 腸 が ん 対 策 費                        | 483,000    | 0          | 0    | 483,000    | 463,516    | 19,484    |  |
| (1) 大 腸 が ん 対 策 費                       | 483,000    | 0          | 0    | 483,000    | 463,516    | 19,484    |  |

| 款 項 目               | 予 算 現 額    |            |      |            | 支出済額       | 不用額       | 摘 要               |
|---------------------|------------|------------|------|------------|------------|-----------|-------------------|
|                     | 予算額        | 補正額        | 流用増減 | 計          |            |           |                   |
| 7) 肝臓がん対策費          | 506,000    | 0          | 0    | 506,000    | 419,777    | 86,223    |                   |
| (1) 肝臓がん対策費         | 506,000    | 0          | 0    | 506,000    | 419,777    | 86,223    |                   |
| 8) がん検診精度確保対策費      | 2,958,000  | 0          | 0    | 2,958,000  | 2,905,005  | 52,995    |                   |
| (1) がん検診精度確保対策費     | 2,958,000  | 0          | 0    | 2,958,000  | 2,905,005  | 52,995    |                   |
| 9) 若年者心臓検診対策費       | 4,820,000  | △480,846   | 0    | 4,339,154  | 3,904,508  | 434,646   |                   |
| (1) 若年者心臓検診対策費      | 4,820,000  | △480,846   | 0    | 4,339,154  | 3,904,508  | 434,646   | ※公租公課費<br>44,577円 |
| 10) 母子保健対策費         | 563,000    | △209,189   | 0    | 353,811    | 348,751    | 5,060     |                   |
| (1) 母子保健対策協議会対策費    | 563,000    | △209,189   | 0    | 353,811    | 348,751    | 5,060     |                   |
| 11) 県民健康対策費         | 3,011,000  | 0          | 0    | 3,011,000  | 2,976,368  | 34,632    |                   |
| (1) 疾病構造調査等研究費      | 3,011,000  | 0          | 0    | 3,011,000  | 2,976,368  | 34,632    |                   |
| 12) 公衆衛生活動費         | 1,873,000  | 0          | 0    | 1,873,000  | 1,789,820  | 83,180    |                   |
| (1) 地域保健対策費         | 493,000    | 0          | 0    | 493,000    | 481,043    | 11,957    |                   |
| (2) 健康教育対策費         | 450,000    | 0          | 0    | 450,000    | 450,000    | 0         |                   |
| (3) 公開健康講座対策費       | 70,000     | 0          | 0    | 70,000     | 0          | 70,000    |                   |
| (4) 生活習慣病対策セミナー対策費  | 860,000    | 0          | 0    | 860,000    | 858,777    | 1,223     |                   |
| 13) 生活習慣病対策費        | 1,110,000  | △561,455   | 0    | 548,545    | 498,700    | 49,845    |                   |
| (1) 生活習慣病対策費        | 1,110,000  | △561,455   | 0    | 548,545    | 498,700    | 49,845    |                   |
| 14) 地域医療研修及び健康情報対策費 | 142,000    | 0          | 0    | 142,000    | 81,438     | 60,562    |                   |
| (1) 地域医療研修及び健康情報対策費 | 142,000    | 0          | 0    | 142,000    | 81,438     | 60,562    |                   |
| 支 出 合 計             | 75,066,000 | △5,438,870 | 0    | 69,627,130 | 65,350,674 | 4,276,456 |                   |

収入済額 69,623,886円

支出済額 65,350,674円

差引残額 4,273,212円 (令和5年度へ繰越)

別記(4)

令和4年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位：円)

| 事業名                    | 支出予算額<br>支出決算額 | 内 訳        |            |            |         |           |           |
|------------------------|----------------|------------|------------|------------|---------|-----------|-----------|
|                        |                | 県支出金       | 事業団支出金     | 市町村等支出金    | その他委託金  | 医師会補助金    | 利息その他     |
| 1. がん登録対策              | 7,074,590      | 6,921,590  |            |            |         | 24,000    | 129,000   |
|                        | 6,943,358      | 6,921,590  |            |            |         | 21,768    | 0         |
| 2. 胃がん対策               | 4,080,720      | 262,000    | 3,351,040  |            | 119,680 |           | 348,000   |
|                        | 4,041,411      | 262,000    | 3,351,040  |            | 119,680 |           | 308,691   |
| 3. 子宮がん対策              | 1,200,970      | 270,000    | 783,970    |            |         | 80,000    | 67,000    |
|                        | 1,071,219      | 270,000    | 783,970    |            |         | 17,249    | 0         |
| 4. 肺がん対策               | 24,016,580     | 863,000    | 4,159,056  | 15,678,080 | 114,444 |           | 3,202,000 |
|                        | 21,517,926     | 863,000    | 4,159,056  | 15,678,080 | 114,444 |           | 703,346   |
| 5. 乳がん対策               | 13,819,760     | 483,360    | 5,754,210  | 7,302,680  | 48,510  |           | 231,000   |
|                        | 13,297,287     | 483,360    | 5,462,737  | 7,302,680  | 48,510  |           | 0         |
| 6. 大腸がん対策              | 483,000        | 260,000    |            |            |         | 177,000   | 46,000    |
|                        | 463,516        | 260,000    |            |            |         | 177,000   | 26,516    |
| 7. 肝臓がん対策              | 506,000        | 293,000    |            |            |         | 110,000   | 103,000   |
|                        | 419,777        | 293,000    |            |            |         | 110,000   | 16,777    |
| 8. がん検診精度<br>確保対策      | 2,958,000      | 2,904,000  |            |            |         | 44,000    | 10,000    |
|                        | 2,905,005      | 2,904,000  |            |            |         | 1,005     | 0         |
| 9. 若年者心臓検診<br>対策       | 4,339,154      | 88,094     | 3,944,820  |            | 306,240 |           |           |
|                        | 3,904,508      | 88,094     | 3,510,174  |            | 306,240 |           |           |
| 10. 母子保健対策             | 353,811        | 284,811    |            |            |         | 69,000    |           |
|                        | 348,751        | 284,811    |            |            |         | 63,940    |           |
| 11. 県民健康対策             | 3,011,000      | 2,973,000  |            |            |         | 28,000    | 10,000    |
|                        | 2,976,368      | 2,973,000  |            |            |         | 3,368     | 0         |
| 12. 公衆衛生活動<br>対策       | 1,873,000      | 1,450,000  | 400,000    |            |         | 20,000    | 3,000     |
|                        | 1,789,820      | 1,450,000  | 339,820    |            |         | 0         | 0         |
| 13. 生活習慣病対策            | 548,545        | 458,545    |            |            |         | 50,000    | 40,000    |
|                        | 498,700        | 458,545    |            |            |         | 40,155    | 0         |
| 14. 地域医療研修及び<br>健康情報対策 | 142,000        |            |            |            |         | 132,000   | 10,000    |
|                        | 81,438         |            |            |            |         | 81,438    | 0         |
| 15. 総 務 費              | 5,220,000      | 3,982,000  |            |            |         | 566,000   | 672,000   |
|                        | 5,091,590      | 3,982,000  |            |            |         | 566,000   | 543,590   |
| 合 計                    | 69,627,130     | 21,493,400 | 18,393,096 | 22,980,760 | 588,874 | 1,300,000 | 4,871,000 |
|                        | 65,350,674     | 21,493,400 | 17,606,797 | 22,980,760 | 588,874 | 1,081,923 | 1,598,920 |

別記（5）

表 彰 基 金

（令和5年3月31日現在）

1. 基金運用収支

（単位：円）

| 科 目    | 年度初現在高  | 増 | 減 | 年度末現在高  | 摘 要 |
|--------|---------|---|---|---------|-----|
| 1. 収 入 |         |   |   |         |     |
| 前年度繰越金 | 169,894 |   |   | 169,894 |     |
| 普通預金利息 |         | 0 |   |         |     |
| 2. 支 出 |         |   | 0 | 0       |     |
| 計      | 169,894 | 0 | 0 | 169,894 |     |

別記（6）

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

（令和5年3月31日現在）

1. 定期預金

（単位：円）

| 科 目       | 年度初現在高    | 増  | 減 | 残 額       | 摘 要    |
|-----------|-----------|----|---|-----------|--------|
| 1. 定期預金積立 | 4,046,293 |    |   |           | 鳥取銀行本店 |
| 2. 定期預金利息 |           | 68 |   |           |        |
| 計         | 4,046,293 | 68 | 0 | 4,046,361 |        |

2. 普通預金収支

（単位：円）

| 科 目    | 年度初現在高    | 増  | 減 | 残 額       | 摘 要    |
|--------|-----------|----|---|-----------|--------|
| 1. 収 入 |           |    |   |           |        |
| 前年度繰越金 | 1,302,206 |    |   |           |        |
| 雑 入    |           | 12 |   | 1,302,218 | 普通預金利息 |
| 2. 支 出 |           |    |   | 0         |        |
| 計      | 1,302,206 | 12 | 0 | 1,302,218 |        |

別記(7)

(写)

## 監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、令和4年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿等を監査した結果適正であることを認めます。

令和5年6月1日

監事 宮崎 聡 印  
監事 山崎 大輔 印

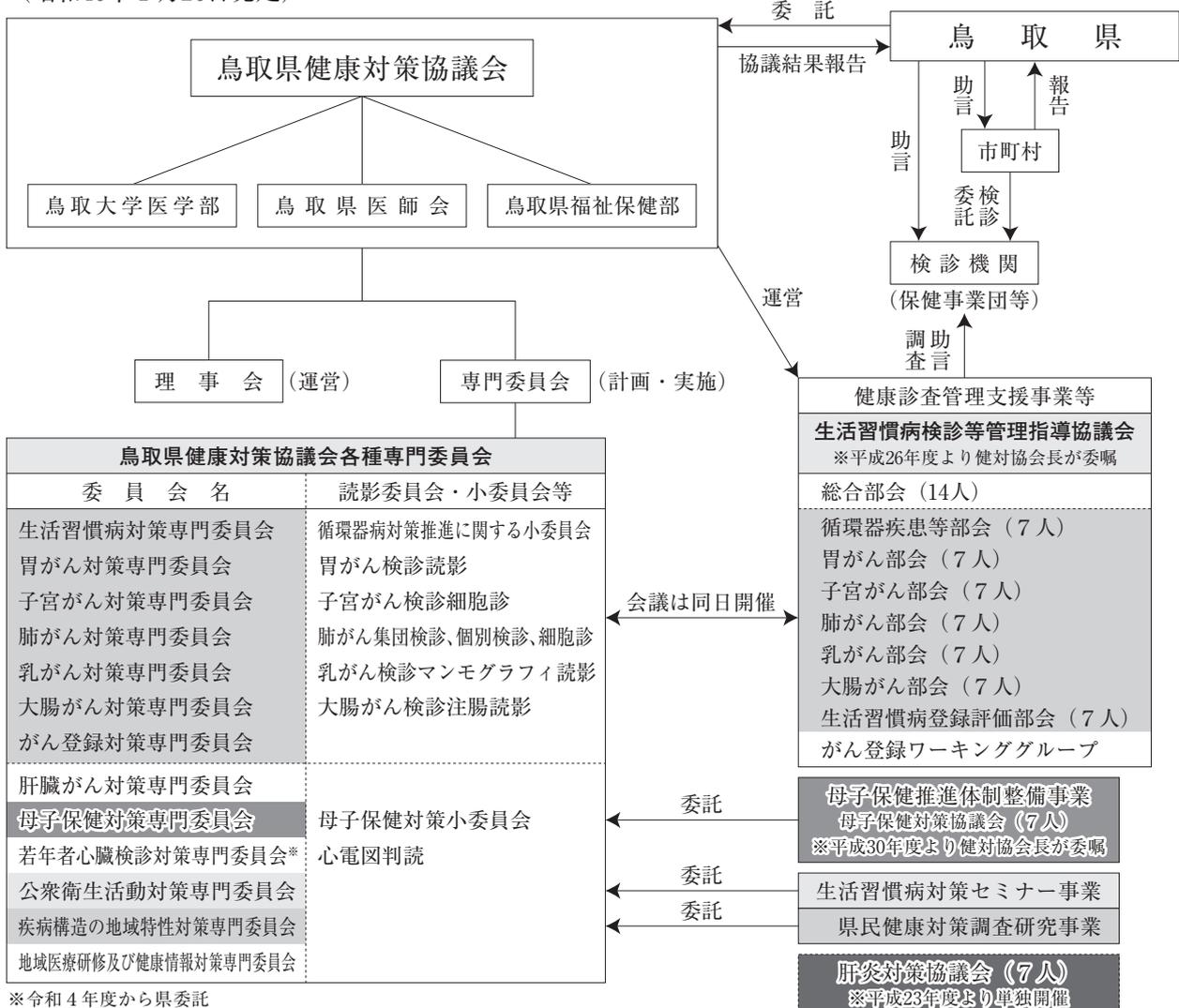
鳥取県健康対策協議会

会長 渡辺 憲 殿

別記(8)

### 鳥取県健康対策協議会と生活習慣病検診等管理指導協議会組織図

(昭和46年1月26日発足)



## 令和5年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

※ 令和5年4月1日付で就任

## 1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授）】

| 医師会             | 県                         | 鳥取大学医学部・附属病院                |
|-----------------|---------------------------|-----------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事） | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長） | 武中 篤（附属病院院長）                |
| 秋藤 洋一（県医師会常任理事） | 廣岡 保明（県立中央病院院長）           | 磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授） |
| 大石 正博（鳥取市立病院院長） | 花木 啓一（県立厚生病院院長）*          |                             |
| 杉谷 篤（博愛病院部長）    | 小倉加恵子（倉吉保健所長）*            |                             |
| 廣瀬 奎介（県医師会事務局）* |                           |                             |
| 田中 久雄（東部医師会）    |                           |                             |
| 野田 博司（中部医師会）    |                           |                             |
| 藤瀬 雅史（西部医師会）    |                           |                             |

## 2. 胃がん対策専門委員会【委員長：謝花典子（山陰労災病院消化器内科顧問）】

| 医師会               | 県                                | 鳥取大学医学部・附属病院                  |
|-------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）   | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）        | 磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）   |
| 瀬川 謙一（県医師会常任理事）   | 田中 究（県立中央病院部長）                   | 藤原 義之（器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授） |
| 秋藤 洋一（県医師会常任理事）   | 野口 直哉（県立厚生病院部長）                  | 八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）  |
| 齊藤 博昭（鳥取赤十字病院副院長） | 吉田 慧（中部総合事務所倉吉保健所医薬・感染症対策課課長補佐）* |                               |
| 尾崎 真人（東部医師会）      |                                  |                               |
| 藤井 武親（中部医師会）      |                                  |                               |
| 大谷 正史（西部医師会）      |                                  |                               |

市町村保健師代表者：田中 琴子（鳥取市健康・子育て推進課健診推進室主任保健師）

鳥取県保健事業団：三宅 二郎（健診事業部次長）

## 3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

| 医師会               | 県                         | 鳥取大学医学部・附属病院               |
|-------------------|---------------------------|----------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）   | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長） | 谷口 文紀（器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授） |
| 村江 正始（鳥取県産婦人科医会長） | 高橋 弘幸（県立中央病院部長）           | 佐藤 慎也（附属病院女性診療科群講師）        |
| 明島 亮二（中部医師会）      | 周防 加奈（県立厚生病院部長）           |                            |
| 脇田 邦夫（西部医師会）      | 長井 大（鳥取市保健所長）             |                            |

市町村保健師代表者：秋久あつみ（湯梨浜町健康推進課係長）

鳥取県保健事業団：藤井 和晃（健診事業部長）\*

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：杉本勇二（鳥取県立中央病院副院長）】

| 医 師 会                                 | 県                              | 鳥取大学医学部・附属病院                    |
|---------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 小林 哲（県医師会副会長）                         | 山崎 利幸（県健康医療局健康政策課長）*           | 中村 廣繁（器官制御科学講座呼吸器・乳腺内分泌外科学分野教授） |
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）                       | 徳安 祐輔（県立中央病院部長）*               | 小谷 昌広（附属病院がんセンター長）              |
| 三上 真顯（県医師会常任理事）                       | 前田 啓之（県立中央病院部長）                | 春木 朋広（附属病院胸部外科診療科群准教授）          |
| 吹野 俊介（信生病院長）<br>（R4. 4. 1～ R5. 8. 31） | 高木 雄三（県立厚生病院部長）<br>（R5. 9. 1～） | 山口 耕介（統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師）   |
| 池田 光之（東部医師会）                          | 西尾 靖子（鳥取市保健所健康・子育て推進課長）*       |                                 |
| 岡田耕一郎（中部医師会）                          |                                |                                 |
| 服岡 泰司（西部医師会）                          |                                |                                 |

市町村保健師代表者：山本 恵子（境港市健康づくり推進課主任保健師）  
鳥取県保健事業団：津村 望（西部健康管理センター健診課課長補佐）

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

| 医 師 会             | 県                                   | 鳥取大学医学部・附属病院         |
|-------------------|-------------------------------------|----------------------|
| 小林 哲（県医師会副会長）     | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）           | 若原 誠（附属病院胸部外科診療科群講師） |
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）   | 廣岡 保明（県立中央病院院長）                     |                      |
| 來間 美帆（県医師会理事）     | 前田 啓之（県立中央病院部長）                     |                      |
| 工藤 浩史（博愛病院部長）     | 永美 知沙（中部総合事務所倉吉保健所）*<br>健康支援総務課課長補佐 |                      |
| 小寺 正人（鳥取市立病院診療局長） |                                     |                      |
| 鈴木 喜雅（鈴木クリニック院長）  |                                     |                      |
| 尾崎 舞（東部医師会）       |                                     |                      |
| 大田里香子（中部医師会）      |                                     |                      |
| 廣田 裕（西部医師会）       |                                     |                      |

市町村保健師代表者：福田 香織（三朝町企画健康課健康づくり係主査）  
鳥取県保健事業団：宮脇 朋子（施設健診課放射線係長）

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

| 医 師 会             | 県                          | 鳥取大学医学部・附属病院                  |
|-------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）   | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）* | 八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授） |
| 瀬川 謙一（県医師会常任理事）   | 柳谷 淳志（県立中央病院部長）            |                               |
| 秋藤 洋一（県医師会常任理事）   | 藤井 秀樹（米子保健所長）              |                               |
| 田中 久雄（鳥取赤十字病院副院長） |                            |                               |
| 前田 佳彦（鳥取赤十字病院部長）  |                            |                               |
| 後藤 大輔（東部医師会）      |                            |                               |
| 牧野 正人（中部医師会）      |                            |                               |
| 山口 研一（西部医師会）      |                            |                               |

市町村保健師代表者：歳岡さゆり（鳥取市健康・子育て推進課健診推進室保健師）  
鳥取県保健事業団：富田 優子（巡回健診課課長）

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

| 医 師 会                | 県                              | 鳥取大学医学部・附属病院                  |
|----------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）      | 山崎 利幸（県健康医療局健康政策課長）*           | 永原 天和（統合内科医学講座消化器・腎臓内科医学分野助教） |
| 瀬川 謙一（県医師会常任理事）      | 前田 和範（県立中央病院部長）                |                               |
| 陶山 和子（西伯病院副院長）       | 三好 謙一（県立厚生病院医長）                |                               |
| 前田 直人（山陰労災病院副院長）     | 柴田 由美（西部総合事務所米子保健所健康支援総務課課長補佐） |                               |
| 満田 朱理（鳥取赤十字病院部長）     |                                |                               |
| 谷口 英明（鳥取市立病院主任部長）    |                                |                               |
| 岡野 淳一（済生会境港総合病院部長）   |                                |                               |
| 大山 賢治（おおやま内科クリニック院長） |                                |                               |
| 松田 裕之（東部医師会）         |                                |                               |
| 芦田 耕三（中部医師会）         |                                |                               |

市町村保健師代表者：中根 翔子（江府町住民生活課主任保健師）

鳥取県保健事業団：山下 裕子（施設健診課課長）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

| 医 師 会           | 県                      | 鳥取大学医学部・附属病院                |
|-----------------|------------------------|-----------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事） | 遠藤 紅弥（県子ども家庭部子育て王国課長）* | 美野 陽一（統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教） |
| 岡田 隆好（県医師会理事）   | 山本 雅文（県体育保健課長）*        |                             |
| 橋田祐一郎（県医師会理事）   | 倉信 裕樹（県立中央病院部長）        |                             |
| 船田 裕昭（山陰労災病院部長） | 長井 大（鳥取市保健所長）          |                             |
| 石谷 暢男（東部医師会）    |                        |                             |
| 西田 法孝（中部医師会）    |                        |                             |
| 長田 郁夫（西部医師会）    |                        |                             |

鳥取県保健事業団：長谷川利恵（健診事業部次長）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

| 医 師 会                | 県                              | 鳥取大学医学部・附属病院   |
|----------------------|--------------------------------|--|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）      | 戸井 歩（県子ども家庭部家庭支援課長）            | 前垣 義弘（脳神経医学講座脳神経小児科学分野教授）<br>山田 祐子（統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教） |
| 松田 隆（県医師会常任理事）       | 花木 啓一（県立厚生病院長）                 |  |
| 岡田 隆好（県医師会理事）        | 宇都宮 靖（県立中央病院副院長）               |  |
| 橋田祐一郎（県医師会理事）        | 高橋 弘幸（県立中央病院部長）                |  |
| 村江 正始（鳥取県産婦人科医会長）*   | 木山 智義（県立厚生病院部長）                |  |
| 笠木 正明（こどもクリニックかさぎ院長） | 柴田 由美（西部総合事務所米子保健所健康支援総務課課長補佐） |  |
| 林 篤（山陰労災病院部長）        |                                |  |
| 石谷 暢男（東部医師会）         |                                |  |
| 井奥 研爾（中部医師会）         |                                |  |
| 井庭 貴浩（西部医師会）         |                                |  |

市町村保健師代表者：後藤 法子（琴浦町子育て応援課子育て世代包括支援センター保健師）\*

河上 仁美（岩美町健康福祉課主任保健師）

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会常任理事）】

| 医 師 会           | 県                    | 鳥取大学医学部・附属病院 |
|-----------------|----------------------|--------------|
| 渡辺 憲（県医師会長）     | 山崎 利幸（県健康医療局健康政策課長）* | 景山 誠二（医学部長）* |
| 岡田 克夫（県医師会常任理事） |                      | 武中 篤（附属病院長）* |

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

| 医 師 会           | 県                         | 鳥取大学医学部・附属病院            |
|-----------------|---------------------------|-------------------------|
| 清水 正人（県医師会副会長）  | 山根 仁子（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長） | 尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学分野教授） |
| 辻田 哲朗（県医師会常任理事） | 山本 雅丈（県体育保健課長）*           |                         |
| 能勢 隆之（中国労働衛生協会） | 廣岡 保明（県立中央病院長）            |                         |
| 加藤 達生（東部医師会）    | 小倉加恵子（倉吉保健所長）*            |                         |
| 深田 悟（中部医師会）     | 池山 恒平（県衛生環境研究所長）*         |                         |
| 佐々木修治（西部医師会）    |                           |                         |

鳥取県保健事業団：米本 幸寿（常務理事兼事務局長）

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】

| 医 師 会                  | 県                          | 鳥取大学医学部・附属病院                    |
|------------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 岡田 克夫（県医師会常任理事）        | 山崎 利幸（県健康医療局健康政策課長）*       | 山本 一博（統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野教授） |
| 太田 匡彦（県医師会理事）          | 宗村 千潮（県立中央病院医療局副局長兼腎臓内科部長） | 黒崎 雅道（脳神経医学講座脳神経外科学分野教授）        |
| 中安 弘幸（中安脳神経・内科クリニック院長） | 藤井 秀樹（米子保健所長）              | 花島 律子（脳神経医学講座脳神経内科学分野教授）        |
| 吉田 泰之（東部医師会）           |                            | 高田 知朗（附属病院腎臓内科長講師）              |
| 河本 知秀（中部医師会）           |                            |                                 |
| 越智 寛（西部医師会）            |                            |                                 |

市町村保健師代表者：坪倉 洋子（日南町福祉保健課健康長寿推進室長）  
鳥取県保健事業団：梶川 貴子（企画調整課統括保健師）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：坂本裕子（県福祉保健部健康医療局長）\*】

| 医 師 会           | 県                     | 鳥取大学医学部・附属病院             |
|-----------------|-----------------------|--------------------------|
| 清水 正人（県医師会副会長）  | 小椋 誠（県ささえあい福祉局長寿社会課長） | 景山 誠二（医学部長）*             |
| 岡田 克夫（県医師会常任理事） | 福井 恒（県健康医療局医療政策課長）*   | 武中 篤（附属病院長）*             |
| 永島 英樹（県医師会理事）   |                       | 谷口 晋一（地域医療学講座教授）         |
| 石谷 暢男（東部医師会長）   |                       | 福本 宗嗣（鳥取県地域医療支援センター専任医師） |
| 安梅 正則（中部医師会長）   |                       |                          |
| 根津 勝（西部医師会長）    |                       |                          |

## 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員名簿

(敬称略)

| 部 会 名       | 氏 名              | 勤 務 先   | 職 名             |
|-------------|------------------|---|-----------------|
| 健 対 協 会 長   | 渡 辺 憲            | 渡辺病院  | 院 長             |
| 循 環 器 疾 患 等 | ○ 山本 一博<br>谷口 晋一 | 鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野<br>鳥取大学医学部地域医療学講座 | 教 授<br>教 授      |
| 胃 が ん       | ○ 磯本 一<br>謝花 典子  | 鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野<br>山陰労災病院消化器内科       | 教 授<br>顧 問      |
| 子 宮 が ん     | ○ 谷口 文紀<br>皆川 幸久 | 鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野<br>鳥取県保健事業団総合保健センター    | 教 授<br>所 長      |
| 肺 が ん       | ○ 中村 廣繁<br>杉本 勇二 | 鳥取大学医学部器官制御外科学講座呼吸器・乳腺内分泌外科学分野<br>鳥取県立中央病院      | 教 授<br>副 院 長    |
| 乳 が ん       | ○ 廣岡 保明<br>山口 由美 | 鳥取県立中央病院<br>鳥取赤十字病院第二外科                         | 院 長<br>部 長      |
| 大 腸 が ん     | ○ 八島 一夫<br>濱本 哲郎 | 鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野<br>博愛病院              | 准 教 授<br>院長特別補佐 |
| がん登録対策専門委員会 | 尾崎 米厚            | 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野                           | 教 授             |

○印は各部会の部会長

(参 考)

## 肝炎対策協議会・肝臓がん対策専門委員会

(敬称略)

| 委 員 会 名       | 氏 名   | 勤 務 先   | 職 名 |
|---------------|-------|---------|-----|
| 肝 炎 対 策 協 議 会 | 松田 裕之 | まつだ内科医院 | 院 長 |
| 肝臓がん対策専門委員会   | 孝田 雅彦 | 日野病院    | 院 長 |

## 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会部会委員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

(順不同・アンダーラインは部会長)

| 部 会 名                              | 氏 名                           | 職 名 (勤務先)                        |
|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 循環器疾患等<br><br><br><br><br><br>計7名  | <u>山 本 一 博</u>                | 鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野教授  |
|                                    | 谷 口 晋 一                       | 鳥取大学医学部地域医療学講座教授                 |
|                                    | 黒 崎 雅 道                       | 鳥取大学医学部脳神経医学講座脳神経外科学分野教授         |
|                                    | 中 安 弘 幸                       | 中安脳神経・内科クリニック院長                  |
|                                    | 花 島 律 子                       | 鳥取大学医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野教授         |
|                                    | 藤 井 秀 樹                       | 米子保健所長                           |
|                                    | 宗 村 千 潮                       | 鳥取県立中央病院医療局副局長兼腎臓内科部長            |
| 胃 が ん<br><br><br><br><br><br>計7名   | <u>磯 本 一</u>                  | 鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授     |
|                                    | 謝 花 典 子                       | 山陰労災病院消化器内科顧問                    |
|                                    | 秋 藤 洋 一                       | 鳥取県保健事業団理事長                      |
|                                    | 齊 藤 博 昭                       | 鳥取赤十字病院副院長                       |
|                                    | 瀬 川 謙 一                       | 瀬川医院長                            |
|                                    | 田 中 究                         | 鳥取県立中央病院消化器内科部長                  |
|                                    | 藤 原 義 之                       | 鳥取大学医学部器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授    |
| 子 宮 が ん<br><br><br><br><br><br>計7名 | <u>谷 口 文 紀</u>                | 鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授       |
|                                    | 皆 川 幸 久                       | 鳥取県保健事業団総合保健センター所長               |
|                                    | 佐 藤 慎 也                       | 鳥取大学医学部附属病院女性診療科群講師              |
|                                    | 周 防 加 奈                       | 鳥取県立厚生病院産婦人科部長                   |
|                                    | 長 井 大                         | 鳥取市保健所長                          |
|                                    | 村 江 正 始                       | 鳥取県産婦人科医会長*                      |
|                                    | 脇 田 邦 夫                       | 脇田産婦人科医院長                        |
| 肺 が ん<br><br><br><br><br><br>計7名   | <u>中 村 廣 繁</u>                | 鳥取大学医学部器官制御外科学講座呼吸器・乳腺内分泌外科学分野教授 |
|                                    | 杉 本 勇 二                       | 鳥取県立中央病院副院長                      |
|                                    | 小 谷 昌 広                       | 鳥取大学医学部附属病院がんセンター准教授             |
|                                    | 徳 安 祐 輔                       | 鳥取県立中央病院病理診断科部長兼臨床検査科部長*         |
|                                    | 春 木 朋 広                       | 鳥取大学医学部附属病院胸部外科診療科群准教授           |
|                                    | 高 木 雄 三                       | 鳥取県立厚生病院胸部外科部長 (R5. 9. 1～)       |
|                                    | 吹 野 俊 介                       | 信生病院長 (R4. 4. 1～ R5. 8. 31)      |
| 山 口 耕 介                            | 鳥取大学医学部統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師 |                                  |
| 乳 が ん<br><br><br><br><br><br>計7名   | <u>廣 岡 保 明</u>                | 鳥取県立中央病院長                        |
|                                    | 山 口 由 美                       | 鳥取赤十字病院第二外科部長                    |
|                                    | 工 藤 浩 史                       | 博愛病院乳腺外科部長                       |
|                                    | 小 林 哲                         | 小林外科内科医院長                        |
|                                    | 鈴 木 喜 雅                       | 鈴木クリニック院長                        |
|                                    | 前 田 啓 之                       | 鳥取県立中央病院呼吸器・乳腺・内分泌外科部長           |
|                                    | 宮 脇 朋 子                       | 鳥取県保健事業団施設健診課放射線係長               |

| 部 会 名   | 氏 名       | 職 名 (勤務先)                     |
|---|-----------|-------------------------------|
| 大 腸 が ん<br><br><br><br><br><br>計 7 名                | 八 島 一 夫   | 鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授 |
|   | 濱 本 哲 郎   | 博愛病院院長特別補佐                    |
|   | 後 藤 大 輔   | 内科・消化器内科 片原ごとうクリニック院長         |
|   | 田 中 久 雄   | 鳥取赤十字病院副院長                    |
|   | 富 田 優 子   | 鳥取県保健事業団巡回健診課長                |
|   | 前 田 佳 彦   | 鳥取赤十字病院第三外科部長                 |
|   | 柳 谷 淳 志   | 鳥取県立中央病院消化器内科部長兼内視鏡室長         |
| 生活習慣病登録評価部会<br>がん登録委員会<br><br><br><br><br><br>計 7 名 | 尾 崎 米 厚   | 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授       |
|   | 岡 田 克 夫   | おかだ内科院長                       |
|   | 小 倉 加 恵 子 | 倉吉保健所長*                       |
|   | 杉 谷 篤     | 博愛病院腎臓外科部長                    |
|   | 廣 岡 保 明   | 鳥取県立中央病院長                     |
|   | 廣 瀬 奎 介   | 鳥取県医師会事務局主事*                  |
|   | 花 木 啓 一   | 鳥取県立厚生病院長*                    |

※令和5年4月1日就任

※県は、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱」を平成26年5月18日に改正

《主な改正点》

- (1) 生活習慣病検診等管理指導協議会の運営を鳥取県健康対策協議会に委託
- (2) 生活習慣病検診等管理指導協議会委員の委嘱を鳥取県健康対策協議会長に改正
- (3) 生活習慣病検診等管理指導協議会の庶務を鳥取県健康対策協議会事務局に改正

別 記 (12)

## 鳥取県母子保健対策協議会委員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

(順不同・アンダーラインは会長)

| 部 会 名                                  | 氏 名     | 職 名 (勤務先)                   |
|--|---------|-----------------------------|
| 母子保健対策協議会<br><br><br><br><br><br>計 7 名 | 村 江 正 始 | 鳥取産院長*                      |
|  | 宇都宮 靖   | 鳥取県立中央病院副院長                 |
|  | 笠 木 正 明 | こどもクリニックかさぎ院長               |
|  | 山 田 祐 子 | 鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野助教 |
|  | 後 藤 法 子 | 琴浦町子育て応援課子育て世代包括支援センター保健師*  |
|  | 河 上 仁 美 | 岩美町健康福祉課主任保健師               |
|  | 柴 田 由 美 | 西部総合事務所米子保健所健康支援総務課課長補佐     |

※令和5年4月1日就任

※県は「鳥取県母子保健対策協議会設置要綱」を平成30年6月1日に改正。

協議会委員は、平成30年度より鳥取県健康対策協議会長が任命。

別 記 (13)

鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

【敬称略／順不同】

| 所 属                   | 役 職   | 氏 名     |
|-----------------------|-------|---------|
| 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野 | 教 授   | 尾 崎 米 厚 |
| 鳥取県医師会                | 副 会 長 | 小 林 哲   |
| 鳥取県医師会                | 常任理事  | 岡 田 克 夫 |
| 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野 |       | 小 林 まゆみ |
| 鳥取県福祉保健部              | 部 長   | 中 西 眞 治 |
| 鳥取県医師会                | 事務局長  | 岡 本 匡 史 |

別 記 (14)

母子保健対策小委員会委員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

【敬称略／順不同】

| 所 属                       | 役 職   | 氏 名      |
|---------------------------|-------|----------|
| 鳥取県医師会                    | 理 事   | 岡 田 隆 好  |
| 鳥取県医師会                    | 理 事   | 橋 田 祐一郎  |
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野  | 教 授   | 前 垣 義 弘  |
| 子育て長田こどもクリニック             | 院 長   | 長 田 郁 夫  |
| おおたにこども・ファミリークリニック        | 院 長   | 大 谷 英 之  |
| 岡本小児科医院                   | 院 長   | 岡 本 賢    |
| 鳥取県立中央病院小児科               | 部 長   | 戸 川 雅 美  |
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野  | 助 教   | 中 村 裕 子  |
| ふなきこどもクリニック               | 院 長   | 船 木 聡    |
| 鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野 | 助 教   | 美 野 陽 一  |
| 琴浦町子育て応援課子育て世代包括支援センター    | 保 健 師 | 後 藤 法 子* |
| 岩美町健康福祉課                  | 主任保健師 | 河 上 仁 美  |

## 鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会委員名簿

(任期：令和4年5月13日～令和6年3月31日)

(県は「循環器病対策推進に関する小委員会設置要綱」を令和4年5月13日に新設)

## 【心血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

| 所 属                           | 役 職   | 氏 名      |
|-------------------------------|-------|----------|
| 鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野 | 教 授   | 山 本 一 博  |
| 鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野 | 講 師   | 加 藤 克    |
| 加藤医院                          | 院 長   | 加 藤 達 生  |
| 鳥取県立中央病院                      | 副 院 長 | 吉 田 泰 之  |
| 西田内科                          | 院 長   | 西 田 法 孝  |
| 藤井政雄記念病院                      | 院 長   | 宮 崎 聡    |
| 山陰労災病院 第3循環器科                 | 部 長   | 水 田 栄之助  |
| つのだ内科・循環器内科クリニック              | 院 長   | 角 田 郁 代  |
| 境港市自治連合会                      | 副 会 長 | 畑 野 成 至* |

## 【脳血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

| 所 属                     | 役 職     | 氏 名     |
|-------------------------|---------|---------|
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野 | 教 授     | 黒 崎 雅 道 |
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野 | 准 教 授   | 坂 本 誠   |
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野 | 教 授     | 花 島 律 子 |
| 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野 | 講 師     | 瀧 川 洋 史 |
| 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション科   | 助 教     | 阪 田 良 一 |
| 中安脳神経・内科クリニック           | 院 長     | 中 安 弘 幸 |
| 鳥取県立中央病院脳神経外科           | 部 長     | 田 淵 貞 治 |
| ウエルフェア北園渡辺病院            | 院 長     | 日 笠 親 績 |
| 鳥取県立厚生病院                | 副 院 長   | 紙 谷 秀 規 |
| 野島病院脳神経外科               | 部 長     | 竹 内 啓 九 |
| (株)皆生グランドホテル天水／華水亭      | 代表取締役社長 | 伊 坂 明*  |

※患者及び患者であった者並びにこれらの者の家族又は遺族を代表する者

## 令和5年度鳥取県健康対策協議会事業計画

( ) の数字は令和5年度予算額

(単位：千円)

## 1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥大医社会医学講座環境予防医学教授）】

| 事業内容   | 摘要  |
|--|---|
| 1. 令和2年(2020年)がん罹患・受療状況標準集計<br>2. 補充届出票による廻り調査、各種検診発見がんからの登録<br>3. 「全国がん登録データベースシステム」運用・オンライン届出の研修会の開催及び利活用<br>4. 「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ」検討会 (7,786) | 1. 日本がん登録全国協議会第32回学術集会参加(青森県青森市)<br>2. 「鳥取県がん登録事業報告書(令和2年集計)」作成 |

## 2. 胃がん対策専門委員会【委員長：謝花典子（山陰労災病院消化器内科顧問）】

| 事業内容   | 摘要   |
|--|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査<br>3. 胃がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理<br>5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影<br>6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討 (5,065) | 1. 各地区読影委員会設置<br>2. 従事者講習会及び症例研究会(西部)<br>3. 第54回日本消化器がん検診学会中国四国地方会参加(徳島県徳島市) |

## 3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

| 事業内容   | 摘要  |
|--|---|
| 1. 集団(車検診)検診実施状況の評価、検討(特に精検受診率の向上)<br>2. 検診発見がん患者の確定調査<br>3. 精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状況評価<br>4. 若年者の受診率向上対策<br>5. 県下統一の合理的なHPV検査導入に向けた検討<br>6. HPVワクチン接種勧奨 (1,438) | 1. 従事者講習会及び症例検討会(未定)<br>2. 子宮がん検診細胞診委員会設置 |

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：杉本勇二（鳥取県立中央病院副院長）】

| 事業内容  | 摘要   |
|---|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 精密検査による肺がん確定診断の調査<br>3. 肺がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 肺がん医療機関検診実施<br>5. デジタル化に伴う読影<br>6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策 (20,981) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（中部）<br>2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置<br>3. 肺がん個別検診読影委員会設置 |

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

| 事業内容   | 摘要   |
|--|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録<br>3. 乳がん検診精密検査医療機関登録<br>4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証<br>5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用<br>6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成 (18,779) | 1. 従事者講習会及び症例検討会（中部）<br>2. 各地区症例検討会<br>3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置 |

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

| 事業内容  | 摘要   |
|---|--|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 検診発見大腸がん患者の確定調査<br>3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録<br>(570) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（東部）<br>2. 大腸がん注腸読影委員会設置<br>3. 大腸がん検診読影講習会<br>4. 大腸がん注腸読影指導会 |

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

| 事業内容  | 摘要                   |
|---|----------------------|
| 1. 集団検診実施状況の評価、検討<br>2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録<br>3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査<br>(585) | 1. 従事者講習会及び症例研究会（西部） |

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（鳥取県立中央病院副院長）】

| 事業内容                                      | 摘要  |
|---|---|
| 1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策<br>2. 心電図判読<br>(4,927) | 1. 各地区判読委員会設置<br>2. 心臓検診従事者講習会（中部）<br>3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会参加（三重県津市） |

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥大医統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

| 事業内容  | 摘要  |
|---|---|
| 1. 母子保健事業の評価<br>2. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始）<br>3. 5歳児健診マニュアル改訂について<br>4. 乳幼児健診マニュアル医師診察項目の改定について<br>(679) | 1. 母子保健対策小委員会開催<br>5歳児健診マニュアル、乳幼児健診マニュアルの改定について検討<br>2. 研修会開催 |

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会常任理事）】

| 事業内容  | 摘要 |
|---|----|
| 1. 鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ研究等（5項目）<br>2. 母子保健調査研究<br>(3,011) |    |

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

| 事業内容  | 摘要   |
|---|--|
| 1. 健康教育対策<br>2. 地域保健対策<br>3. 生活習慣病対策<br>(2,139) | 1. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座）<br>2. 「がん症例対照研究」作業部会開催 |

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥大医地域医療学講座教授）】

| 事業内容   | 摘要  |
|--|---|
| 1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討<br>2. 慢性腎臓病対策事業の検討<br>(1,930) | 1. 鳥取県循環器病対策推進計画の進捗管理と課題抽出<br>2. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（4回；Web開催）<br>3. 循環器病に関する一般向け講演会、多職種連携従事者研修会開催（2回）<br>4. 予防啓発資料作成 |

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：坂本裕子（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

| 事業内容   | 摘要 |
|--|----|
| 1. 地域医療の充実についての検討<br>2. 健康、医療に関わる計画について検討<br>(139) |    |

## 令和5年度鳥取県健康対策協議会予算書

〈収入の部〉

(単位：千円)

| 款 項 目                           | 節                             | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要                     |
|---------------------------------|-------------------------------|--------|--------|-------|-------------------------|
| 1. 県 支 出 金                      |                               | 24,133 | 23,273 | 860   |                         |
| 1) 委 託 金                        |                               | 20,456 | 19,596 | 860   |                         |
| (1) がん登録及び解析<br>評価事業費委託金        |                               | 7,242  | 7,242  | 0     | 委託金6,584千円<br>+消費税658千円 |
|                                 | 1. がん登録及び解析<br>評価事業費委託金       | 7,242  | 7,242  | 0     |                         |
| (2) 県民健康対策調査<br>研究事業費委託金        |                               | 2,973  | 2,973  | 0     | 委託金2,703千円<br>+消費税270千円 |
|                                 | 1. 県民健康対策調査<br>研究事業費委託金       | 2,973  | 2,973  | 0     |                         |
| (3) 健康診査管理支援<br>事業費委託金          |                               | 3,117  | 2,837  | 280   | 委託金2,834千円<br>+消費税283千円 |
|                                 | 1. 健康診査管理支援<br>事業費委託金         | 3,117  | 2,837  | 280   |                         |
| (4) 生活習慣病予防セミナー<br>開催事業費委託金     |                               | 1,450  | 1,450  | 0     | 委託金1,318千円<br>+消費税132千円 |
|                                 | 1. 生活習慣病予防セミナー<br>開催事業費委託金    | 1,450  | 1,450  | 0     |                         |
| (5) がん検診精度確保<br>事業費委託金          |                               | 3,704  | 3,704  | 0     | 委託金3,367千円<br>+消費税337千円 |
|                                 | 1. がん検診精度確保<br>事業費委託金         | 3,704  | 3,704  | 0     |                         |
| (6) 肝臓がん検診従事者講習会<br>開催等事業費委託金   |                               | 293    | 293    | 0     | 委託金266千円<br>+消費税27千円    |
|                                 | 1. 肝臓がん検診従事者講習会<br>開催等事業費委託金  | 293    | 293    | 0     |                         |
| (7) 肺がん医療機関検診読影<br>委員会開催事業費委託金  |                               | 603    | 603    | 0     | 委託金548千円<br>+消費税55千円    |
|                                 | 1. 肺がん医療機関検診読影<br>委員会開催事業費委託金 | 603    | 603    | 0     |                         |
| (8) 母子保健推進体制<br>整備事業費委託金        |                               | 494    | 494    | 0     | 委託金449千円<br>+消費税45千円    |
|                                 | 1. 母子保健推進体制<br>整備事業費委託金       | 494    | 494    | 0     |                         |
| (新)(9) 循環器病に関する研修会<br>及び普及啓発等事業 |                               | 580    | 0      | 580   | 委託金527千円<br>+消費税53千円    |
|                                 | 1. 循環器病に関する研修会<br>及び普及啓発等事業   | 580    | 0      | 580   |                         |
| 2) 県 負 担 金                      |                               | 3,677  | 3,677  | 0     |                         |
| (1) 事務局強化対策<br>負担金              |                               | 3,677  | 3,677  | 0     |                         |
|                                 | 1. 事務局強化対策<br>負担金             | 3,677  | 3,677  | 0     |                         |
| 2. 保健事業団支出金                     |                               | 23,934 | 21,488 | 2,446 |                         |
| 1) 委 託 金                        |                               | 23,534 | 21,088 | 2,446 |                         |

| 款 項 目                   | 節                      | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要   |
|-------------------------|------------------------|--------|--------|-------|---|
| (1) 胃集検読影<br>事業費委託金     |                        | 4,400  | 4,400  | 0     | @440×10,000件<br>(消費税等込み)  |
|                         | 1. 胃集検読影<br>事業費委託金     | 4,400  | 4,400  | 0     |   |
| (2) 子宮がん検診<br>事業費委託金    |                        | 1,009  | 1,016  | △7    | 細胞診1次直接塗抹法<br>@440×20件<br>細胞診1次LBC法<br>@330×630件<br>最終判定@990×800件<br>(消費税等込み) |
|                         | 1. 子宮がん検診<br>事業費委託金    | 1,009  | 1,016  | △7    |   |
| (3) 肺がん検診<br>事業費委託金     |                        | 4,485  | 5,112  | △627  | 胸部X線読影料<br>@121×35,000件<br>細胞診1次@440×500件<br>最終判定@990×30件<br>(消費税等込み)         |
|                         | 1. 肺がん検診<br>事業費委託金     | 4,485  | 5,112  | △627  |   |
| (4) 乳がん検診<br>事業費委託金     |                        | 9,240  | 6,160  | 3,080 | マンモグラフィ読影料<br>@770×12,000件<br>(消費税等込み)  |
|                         | 1. 乳がん検診<br>事業費委託金     | 9,240  | 6,160  | 3,080 |   |
| (5) 若年者心臓検診<br>事業費委託金   |                        | 4,400  | 4,400  | 0     | 判読料@220×20,000件<br>(消費税等込み)   |
|                         | 1. 心電図判読検査<br>事業費委託金   | 4,400  | 4,400  | 0     |   |
| 2) 補助金                  |                        | 400    | 400    | 0     |   |
| (1) 各専門委員会<br>連絡調整補助金   |                        | 400    | 400    | 0     |   |
|                         | 1. 各専門委員会<br>連絡調整補助金   | 400    | 400    | 0     |   |
| 3. 市町村等支出金              |                        | 23,100 | 23,485 | △385  |   |
| 1) 市町村委託金               |                        | 23,100 | 23,485 | △385  |   |
| (1) 肺がん医療機関<br>検診事業費委託金 |                        | 15,400 | 15,400 | 0     | 胸部X線読影料<br>@440×35,000件<br>(消費税等込み)   |
|                         | 1. 肺がん医療機関<br>検診事業費委託金 | 15,400 | 15,400 | 0     |   |
| (2) 乳がん検診<br>事業費委託金     |                        | 7,700  | 8,085  | △385  | マンモグラフィ読影料<br>@770×10,000件<br>(消費税等込み)  |
|                         | 1. 乳がん検診<br>事業費委託金     | 7,700  | 8,085  | △385  |   |
| 4. その他委託金               |                        | 726    | 649    | 77    |   |
| 1) 委託金                  |                        | 726    | 649    | 77    |   |
| (1) 若年者心臓検診<br>事業費委託金   |                        | 297    | 220    | 77    | いなば財団@220×1,100件<br>(消費税込み)<br>岩美病院@220×250件<br>(消費税込み)                       |
|                         | 1. 心電図判読検査<br>事業費委託金   | 297    | 220    | 77    |   |
| (2) 胃集検読影<br>事業費委託金     |                        | 220    | 220    | 0     | 中国労働衛生協会<br>@440×500件(消費税等込み)   |
|                         | 1. 胃集検読影<br>事業費委託金     | 220    | 220    | 0     |   |

| 款 項 目                   | 節                      | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要                                 |
|-------------------------|------------------------|--------|--------|-------|-------------------------------------|
| (3) 肺がん検診<br>事業費委託金     |                        | 132    | 132    | 0     | 中国労働衛生協会<br>@132×1,000件<br>(消費税等込み) |
|                         | 1. 肺がん検診<br>事業費委託金     | 132    | 132    | 0     |                                     |
| (4) 乳がん検診<br>事業費委託金     |                        | 77     | 77     | 0     | 中国労働衛生協会<br>@770×100件               |
|                         | 1. 乳がん検診<br>事業費委託金     | 77     | 77     | 0     |                                     |
| 5. 県医師会補助金              |                        | 1,300  | 1,300  | 0     |                                     |
| 1) 県医師会補助金              |                        | 1,300  | 1,300  | 0     |                                     |
| (1) 運営費補助金              |                        | 1,300  | 1,300  | 0     |                                     |
|                         | 1. 運営費補助金              | 1,300  | 1,300  | 0     |                                     |
| 6. 寄 付 金                |                        | 1      | 1      | 0     |                                     |
| 1) 寄 付 金                |                        | 1      | 1      | 0     |                                     |
| (1) 寄 付 金               |                        | 1      | 1      | 0     |                                     |
|                         | 1. 寄 付 金               | 1      | 1      | 0     |                                     |
| 7. 諸 収 入                |                        | 44     | 31     | 13    |                                     |
| 1) 預 金 利 子              |                        | 1      | 1      | 0     |                                     |
| (1) 預 金 利 子             |                        | 1      | 1      | 0     |                                     |
|                         | 1. 預 金 利 子             | 1      | 1      | 0     |                                     |
| 2) 労働者保険料<br>被保険者負担分収入  |                        | 43     | 30     | 13    | 労働保険料事業主立替分収入                       |
| (1) 労働者保険料<br>被保険者負担分収入 |                        | 43     | 30     | 13    |                                     |
|                         | 1. 労働者保険料<br>被保険者負担分収入 | 43     | 30     | 13    |                                     |
| 8. 繰 越 金                |                        | 4,273  | 4,839  | △566  |                                     |
| 1) 前年度繰越金               |                        | 4,273  | 4,839  | △566  |                                     |
| (1) 前年度繰越金              |                        | 4,273  | 4,839  | △566  |                                     |
|                         | 1. 前年度繰越金              | 4,273  | 4,839  | △566  |                                     |
| 収 入 合 計                 |                        | 77,511 | 75,066 | 2,445 |                                     |

〈支出の部〉

(単位：千円)

| 款 項 目                              | 節         | 予算額   | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要  |
|------------------------------------|-----------|-------|--------|-------|--|
| 1. 総 務 費                           |           | 6,478 | 5,220  | 1,258 |  |
| 1) 会 議 費                           |           | 788   | 738    | 50    |  |
| (1) 理 事 会 費                        |           | 788   | 738    | 50    |  |
|                                    | 9. 旅 費    | 285   | 255    | 30    | 理事会(1回)250,000円<br>監事会10,000円、車代25,000円  |
|                                    | 11. 需 用 費 | 443   | 443    | 0     | 資料印刷代370,000円、消耗品費26,200円<br>理事会会議諸費6,000円<br>新聞購読料40,800円   |
|                                    | 12. 役 務 費 | 50    | 30     | 20    | 通信運搬費  |
|                                    | 14. 使 用 料 | 10    | 10     | 0     | 会場使用料  |
| 2) 各 専 門 委 員 会<br>連 絡 調 整 費        |           | 1,488 | 1,245  | 243   |  |
| (1) 各 専 門 委 員 会<br>連 絡 調 整 費       |           | 1,488 | 1,245  | 243   |  |
|                                    | 9. 旅 費    | 840   | 799    | 41    | 総合部会270,000円、車代58,320円<br>一般旅費305,000円<br>・事業打合せ80,000円<br>健康医療相談225,000円<br>研修会等旅費206,680円<br>・全国がん検診指導者講習会(事務<br>局・東京)206,680円 |
|                                    | 11. 需 用 費 | 435   | 285    | 150   | コピー代80,000円、食糧費30,000円<br>印刷代230,000円、消耗品費95,000円  |
|                                    | 12. 役 務 費 | 203   | 151    | 52    | 電話代45,000円、郵送料120,000円<br>振込手数料24,800円<br>BI基本手数料13,200円   |
|                                    | 14. 使 用 料 | 10    | 10     | 0     | 会場使用料  |
| 3) 給 料                             |           | 2,316 | 2,316  | 0     | 専従職員1名分  |
| (1) 給 料                            |           | 2,316 | 2,316  | 0     |  |
|                                    | 19. 負 担 金 | 2,316 | 2,316  | 0     |  |
| 4) 納 税 申 告 作 成 費                   |           | 316   | 316    | 0     |  |
| (1) 消 費 税 申 告 作 成 費                |           | 78    | 78     | 0     |  |
|                                    | 8. 報 償 費  | 77    | 77     | 0     | 消費税申告書作成報酬   |
|                                    | 12. 役 務 費 | 1     | 1      | 0     | 通信運搬費  |
| (2) 会 計 ・ 給 料 シ ス テ ム<br>レ ン タ ル 料 |           | 238   | 238    | 0     |  |
|                                    | 12. 役 務 費 | 2     | 2      | 0     | 通信運搬費  |
|                                    | 14. 賃 借 料 | 236   | 236    | 0     | 会計システムレンタル料79,200円<br>給料システムレンタル料79,200円<br>マイポータルレンタル料66,000円<br>法定調書ソフト11,000円   |
| 5) 公 租 公 課 費                       |           | 1,570 | 605    | 965   |  |
| (1) 公 租 公 課 費                      |           | 1,570 | 605    | 965   |  |

| 款 項 目      | 節         | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要   |
|------------|-----------|--------|--------|-------|---|
|            | 27. 公租公課費 | 1,570  | 605    | 965   | 健康対策費のうち以下の項目で公租公課費<br>1,775千円支出<br>※ { 胃がん対策費 100千円<br>子宮がん対策費 20千円<br>肺がん対策費 1,200千円<br>乳がん対策費 375千円<br>若年者心臓検診対策費 80千円<br>小 計 1,775千円<br>合 計 3,345千円 |
| 2. 健康対策費   |           | 71,033 | 69,846 | 1,187 |   |
| 1) がん登録費   |           | 7,786  | 7,395  | 391   |   |
| (1) がん登録費  |           | 7,786  | 7,395  | 391   |   |
|            | 4. 共 済 費  | 380    | 400    | △20   | 非常勤任用職員(1人)<br>社会保険料280,000円<br>労働保険料100,000円   |
|            | 7. 賃 金    | 5,268  | 5,268  | 0     | がん登録事務補助員<br>賃金@940×1,370時間×4人=5,151,200円<br>通勤手当116,400円   |
|            | 8. 報 償 費  | 106    | 106    | 0     | 報告書執筆謝金50,000円<br>全国がん登録研修会講師謝礼(1名)<br>55,685円  |
|            | 9. 旅 費    | 683    | 338    | 345   | 専門委員会(1回)120,000円<br>ワーキンググループ会議(1回)45,000円<br>全国がん登録オンライン届出研修会旅費<br>50,000円<br>全国がん登録行政担当者研修・実務者研<br>修出席旅費4名 337,360円<br>診断票検査旅費120,000円、車代10,640円     |
|            | 11. 需 用 費 | 699    | 663    | 36    | 「がん登録事業報告書」印刷代390,000円<br>会報印刷代100,000円、食糧費10,000円<br>コピー代30,000円、消耗品費169,000円  |
|            | 12. 役 務 費 | 280    | 250    | 30    | 通信運搬費265,000円<br>振込手数料10,000円<br>日本がん登録協議会(青森)参加費1名<br>5,000円   |
|            | 13. 委 託 料 | 300    | 300    | 0     | 全国がん登録データ取り込み等一式  |
|            | 14. 使 用 料 | 70     | 70     | 0     | 会場使用料   |
| 2) 胃がん対策費  |           | 5,065  | 5,230  | △165  |   |
| (1) 胃がん対策費 |           | 5,065  | 5,230  | △165  |   |
|            | 4. 共 済 費  | 54     | 53     | 1     | 非常勤任用職員(1人)社会保険料<br>42,000円<br>労働保険料12,000円   |
|            | 7. 賃 金    | 634    | 634    | 0     | 非常勤任用職員1人分賃金(4か月分)  |
|            | 8. 報 償 費  | 2,095  | 2,145  | △50   | 講習会講師謝金111,370円<br>読影謝金 @10,000×195人=1,950,000円<br>胃がん検診発見患者確定調査謝金<br>33,411円   |
|            | 9. 旅 費    | 650    | 560    | 90    | 専門委員会(2回)270,000円<br>車代4,620円<br>日本消化器がん検診学会中国四国地方会<br>(徳島)265,800円<br>がん征圧大会29,580円<br>講習会講師交通費・宿泊代80,000円   |
|            | 11. 需 用 費 | 388    | 418    | △30   | コピー代50,000円、消耗品費100,300円<br>食糧費50,000円、会報印刷代120,000円<br>各地区読影会事務費60,000円<br>看板作成代7,700円   |
|            | 12. 役 務 費 | 164    | 170    | △6    | 通信運搬費80,000円、振込手数料30,000円<br>読影委員傷害保険料54,000円   |
|            | 13. 委 託 料 | 880    | 800    | 80    | がん検診読影業務委託料(東部、中部)  |
|            | 14. 使 用 料 | 100    | 100    | 0     | 会場借上料   |

| 款 項 目                     | 節         | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減    | 摘 要   |
|---------------------------|-----------|--------|--------|--------|---|
|                           | 27. 公租公課費 | 100    | 350    | △250   |   |
| 3) 子宮がん対策費                |           | 1,438  | 1,433  | 5      |   |
| (1) 子宮がん対策費               |           | 1,438  | 1,433  | 5      |   |
|                           | 8. 報 償 費  | 990    | 995    | △5     | 講習会講師謝金111,370円<br>細胞診一次謝金 直接塗抹法<br>@350×20件=7,000円<br>細胞診一次謝金 LBC法<br>@250×630件=157,500円<br>最終判定謝金<br>@850×800件=680,000円<br>子宮がん検診発見患者確定調査謝金<br>33,411円  |
|                           | 9. 旅 費    | 240    | 230    | 10     | 専門委員会(2回)210,000円、車代10,000円<br>講習会講師交通費・宿泊代20,000円  |
|                           | 11. 需 用 費 | 88     | 88     | 0      | 消耗品費10,000円、食糧費10,300円<br>会報印刷代60,000円、看板作成代7,700円  |
|                           | 12. 役 務 費 | 50     | 50     | 0      | 通信運搬費、送金手数料   |
|                           | 14. 使 用 料 | 50     | 50     | 0      | 会場借上料   |
|                           | 27. 公租公課費 | 20     | 20     | 0      |   |
| 4) 肺がん対策費                 |           | 20,981 | 24,709 | △3,728 |   |
| (1) 肺がん対策費                |           | 20,378 | 24,106 | △3,728 |   |
|                           | 4. 共 済 費  | 80     | 73     | 7      | 非常勤任用職員(1人)社会保険料<br>64,000円<br>労働保険料16,000円   |
|                           | 7. 賃 金    | 1,591  | 991    | 600    | 非常勤任用職員2人分賃金  |
|                           | 8. 報 償 費  | 12,870 | 14,081 | △1,211 | 講習会講師謝金111,370円<br>フィルム読影料 @65×35,000件<br>=2,275,000円<br>読影謝金(車検診) @9,500×200人<br>=1,900,000円<br>〃 (医療機関) @9,500×750人<br>=7,125,000円<br>〃 (車検診+医療機関) @11,500×105人<br>=1,207,500円<br>細胞診一次謝金 @350×550件<br>=192,500円<br>最終判定謝金 @850×30件<br>=25,500円<br>肺がん検診発見患者確定調査謝金33,411円 |
|                           | 9. 旅 費    | 500    | 470    | 30     | 専門委員会(2回)300,000円、車代20,000円<br>講習会講師交通費・宿泊代(1回)180,000円   |
|                           | 11. 需 用 費 | 2,047  | 1,928  | 119    | コピー代200,000円、食糧費21,300円<br>会報印刷代150,000円、消耗品費88,000円<br>看板作成代7,700円<br>地区医師会事務費800,000円<br>各地区読影会会場費<br>@6,000×130日=780,000円  |
|                           | 12. 役 務 費 | 1,040  | 180    | 860    | 通信運搬費100,000円、振込手数料70,000円<br>読影委員傷害保険料70,000円<br>デジタル画像読影装置保守点検料800,000円   |
|                           | 13. 委 託 料 | 600    | 2,500  | △1,900 | がん検診読影業務委託料(中部)   |
|                           | 14. 使 用 料 | 200    | 133    | 67     | 会場借上料   |
|                           | 18. 備品購入費 | 250    | 2,000  | △1,750 | ノートパソコン購入代金   |
|                           | 27. 公租公課費 | 1,200  | 1,750  | △550   |   |
| (2) 肺がん医療機関検診<br>読影委員会対策費 |           | 603    | 603    | 0      |   |

| 款 項 目       | 節                          | 予算額       | 前年度予算額 | 増△減  | 摘 要   |                    |
|-------------|----------------------------|-----------|--------|--|---|--------------------|
| 5) 乳がん対策費   | 8. 報 償 費                   | 262       | 262    | 0  | 医療機関検診従事者講習会講師謝金<br>89,096円、座長等謝金12,600円<br>肺がん医療機関検診読影委員会出席手当<br>(2回) 160,000円   |                    |
|             | 9. 旅 費                     | 85        | 85     | 0  | 肺がん医療機関検診読影委員会旅費<br>70,000円<br>講習会講師交通費15,000円  |                    |
|             | 11. 需 用 費                  | 166       | 166    | 0  | コピー代46,000円、消耗品費80,000円<br>印刷代40,000円   |                    |
|             | 12. 役 務 費                  | 40        | 40     | 0  | 通信運搬費   |                    |
|             | 14. 使 用 料                  | 50        | 50     | 0  | 会場借上料   |                    |
|             | (1) 乳がん対策費                 |           | 18,779 | 15,613   | 3,166   |                    |
|             |                            |           | 17,979 | 14,813   | 3,166   |                    |
|             | 4. 共 済 費                   | 26        | 50     | △24  | 非常勤任用職員(1人)社会保険料<br>20,000円<br>労働保険料6,000円  |                    |
|             | 7. 賃 金                     | 317       | 317    | 0  | 臨時的任用職員1人分賃金(2か月分)  |                    |
|             | 8. 報 償 費                   | 13,695    | 11,445 | 2,250  | 講習会講師謝金111,370円<br>マンモグラフィ読影料<br>{@300×12,000件×2人=7,200,000円<br>@11,000×550人=6,050,000円<br>乳がん検診発見患者確定調査33,411円<br>各地区読影委員会・症例検討会出席手当<br>300,000円 |                    |
|             | 9. 旅 費                     | 450       | 360    | 90   | 専門委員会(2回)300,000円<br>車代20,000円<br>講習会講師交通費・宿泊代(1回)<br>130,000円  |                    |
|             | 11. 需 用 費                  | 828       | 738    | 90   | 食糧費10,300円、会報印刷代150,000円<br>消耗品費70,000円、コピー代70,000円<br>看板作成費7,700円<br>各地区読影会会場費<br>@6,000×70日=420,000円<br>地区医師会事務費100,000円                        |                    |
|             | 12. 役 務 費                  | 1,238     | 94     | 1,144  | 通信運搬費120,000円<br>振込手数料84,000円<br>読影委員傷害保険料34,000円<br>保守点検料1,000,000円  |                    |
|             | (2) マンモグラフィ読影<br>医師資格更新助成費 | 13. 委 託 料 | 800    | 1,040  | △240  | がん検診読影業務委託料(東部、中部) |
| 14. 使 用 料   |                            | 250       | 100    | 150  | 会場借上料   |                    |
| 27. 公租公課費   |                            | 375       | 669    | △294   |   |                    |
|             |                            | 800       | 800    | 0  |   |                    |
| 11. 需 用 費   |                            | 10        | 10     | 0  | コピー代5,000円、消耗品費5,000円   |                    |
| 12. 役 務 費   |                            | 20        | 20     | 0  | 通信運搬費、振込手数料   |                    |
| 19. 負 担 金   |                            | 770       | 770    | 0  | 乳がん検診マンモグラフィ読影認定医資<br>格A及びB者更新に係る経費(受講料、受<br>験料、旅費)助成10人分   |                    |
| 6) 大腸がん対策費  |                            |           | 570    | 483  | 87  |                    |
| (1) 大腸がん対策費 |                            |           | 570    | 483  | 87  |                    |
| 8. 報 償 費    |                            | 145       | 145    | 0  | 講習会講師謝金111,370円<br>大腸がん検診発見患者確定調査謝金<br>33,411円  |                    |
| 9. 旅 費      | 220                        | 215       | 5      | 専門委員会(2回)170,000円、車代10,000円<br>講習会講師交通費・宿泊代(1回)40,000円 |   |                    |

| 款 項 目          | 節               | 予算額   | 前年度予算額 | 増△減                      | 摘 要   |
|----------------|-----------------|-------|--------|--------------------------|---|
| 7) 肝臓がん対策費     | 11. 需用費         | 105   | 63     | 42                       | 会報印刷代58,000円、食糧費10,000円<br>看板作成代7,700円、消耗品費29,300円  |
|                | 12. 役務費         | 60    | 20     | 40                       | 通信運搬費   |
|                | 14. 使用料         | 40    | 40     | 0                        | 会場借上料   |
|                | (1) 肝臓がん対策費     | 585   | 506    | 79                       |   |
|                | 8. 報償費          | 145   | 145    | 0                        | 講習会講師謝金111,370円<br>肝臓がん検診発見患者確定調査33,411円  |
|                | 9. 旅費           | 240   | 220    | 20                       | 専門委員会(2回)170,000円<br>症例研究会旅費20,000円<br>講習会講師交通費・宿泊代40,000円<br>車代10,000円                             |
|                | 11. 需用費         | 80    | 61     | 19                       | 会報印刷代55,000円、食糧費2,000円<br>コピー代10,000円<br>看板作成代7,700円、消耗品費5,300円                                     |
| 8) がん検診精度確保対策費 | 12. 役務費         | 50    | 40     | 10                       | 通信運搬費   |
|                | 14. 使用料         | 70    | 40     | 30                       | 会場借上料   |
|                | (1) がん検診精度確保対策費 | 3,004 | 2,958  | 46                       |   |
|                | 8. 報償費          | 850   | 850    | 0                        | 講習会講師謝金460,000円<br>症例研究会等出席手当360,000円<br>各がん検診症例研究会謝金30,000円  |
|                | 9. 旅費           | 870   | 521    | 349                      | 各がん検診症例研究会旅費570,000円<br>学会旅費300,000円  |
|                | 11. 需用費         | 980   | 985    | △5                       | 報告書印刷代820,000円、会議費20,000円<br>資料印刷代50,000円、消耗品費40,000円<br>コピー代30,000円、看板代20,000円                     |
|                | 12. 役務費         | 150   | 302    | △152                     | 通信運搬費   |
| 9) 若年者心臓検診対策費  | 14. 使用料         | 154   | 300    | △146                     | 会場借上料   |
|                | (1) 若年者心臓検診対策費  | 4,927 | 4,820  | 107                      |   |
|                | 8. 報償費          | 3,741 | 3,682  | 59                       | 講習会講師謝金111,370円<br>心電図判読料@170×21,350件 = 3,629,500円  |
|                | 9. 旅費           | 653   | 465    | 188                      | 専門委員会(1回)100,000円<br>車代1,000円<br>講習会旅費130,000円<br>若年者心疾患・生活習慣病対策協議会旅費(津市)421,940円                   |
|                | 11. 需用費         | 333   | 413    | △80                      | 消耗品費31,300円、食糧費5,000円<br>県教職員名簿1,500円<br>会報印刷代54,000円、コピー代20,000円<br>看板代7,700円<br>各地区事務費@10×21,350件 |
|                | 12. 役務費         | 50    | 100    | △50                      | 通信運搬費   |
|                | 14. 使用料         | 50    | 60     | △10                      | 会場借上料   |
| 19. 負担金        | 20              | 20    | 0      | 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会年会費(2人) |   |
| 27. 公租公課費      | 80              | 80    | 0      |                          |   |

| 款 項 目            | 節         | 予算額   | 前年度予算額 | 増△減 | 摘 要  |
|------------------|-----------|-------|--------|-----|--|
| 10) 母子保健対策費      |           | 679   | 563    | 116 |  |
| (1) 母子保健対策協議会対策費 |           | 679   | 563    | 116 |  |
|                  | 7. 賃 金    | 20    | 10     | 10  | 講習会（1回）アルバイト代2名分   |
|                  | 8. 報 償 費  | 89    | 67     | 22  | 講習会講師謝金44,454円×2人×1回   |
|                  | 9. 旅 費    | 350   | 246    | 104 | 専門委員会（1回）160,000円<br>車代1,000円<br>小委員会（3回）130,000円<br>講習会旅費59,000円        |
|                  | 11. 需 用 費 | 90    | 110    | △20 | 消耗品費6,000円、コピー代19,000円<br>会議費5,000円、会報印刷代40,000円<br>資料印刷代20,000円         |
|                  | 12. 役 務 費 | 30    | 40     | △10 | 通信運搬費  |
|                  | 14. 使 用 料 | 100   | 90     | 10  | 会場借上料（1回分）   |
| 11) 県民健康対策費      |           | 3,011 | 3,011  | 0   |  |
| (1) 疾病構造調査等研究費   |           | 3,011 | 3,011  | 0   |  |
|                  | 8. 報 償 費  | 2,500 | 2,500  | 0   | 疾病構造調査研究謝金（5項目）<br>2,000,000円<br>母子保健調査研究謝金500,000円                      |
|                  | 9. 旅 費    | 41    | 41     | 0   | 専門委員会（1回）39,580円、車代1,420円  |
|                  | 11. 需 用 費 | 330   | 330    | 0   | 報告書印刷製本費164,000円<br>会議費5,000円<br>会報印刷代50,000円、コピー代21,000円<br>消耗品費90,000円 |
|                  | 12. 役 務 費 | 130   | 130    | 0   | 通信運搬費  |
|                  | 14. 使 用 料 | 10    | 10     | 0   | 会場借上料  |
| 12) 公衆衛生活動費      |           | 2,139 | 1,873  | 266 |  |
| (1) 地域保健対策費      |           | 493   | 493    | 0   |  |
|                  | 8. 報 償 費  | 121   | 160    | △39 | 「健康相談室」原稿料 @5,011×24回  |
|                  | 9. 旅 費    | 201   | 192    | 9   | 専門委員会（1回）80,000円、車代1,000円<br>がん症例対照研究作業部会（2回）<br>120,000円                |
|                  | 11. 需 用 費 | 119   | 119    | 0   | 会報印刷代70,000円、消耗品費21,000円<br>食糧費8,000円、コピー代20,000円                        |
|                  | 12. 役 務 費 | 32    | 12     | 20  | 通信運搬費  |
|                  | 14. 使 用 料 | 20    | 10     | 10  | 会場借上料  |
| (2) 健康教育対策費      |           | 450   | 450    | 0   |  |
|                  | 8. 報 償 費  | 260   | 260    | 0   | 各地区健康教育活動講演会講師謝金<br>260,000円   |
|                  | 9. 旅 費    | 30    | 30     | 0   | 各地区健康教育活動に係った出席旅費<br>30,000円   |
|                  | 11. 需 用 費 | 90    | 90     | 0   | 看板代30,000円、コピー代40,000円<br>印刷代20,000円                                     |
|                  | 12. 役 務 費 | 10    | 10     | 0   | 通信運搬費  |
|                  | 14. 使 用 料 | 60    | 60     | 0   | 会場借上料  |

| 款 項 目                   | 節         | 予算額    | 前年度予算額 | 増△減   | 摘 要   |
|-------------------------|-----------|--------|--------|-------|---|
| (3) 公開健康講座<br>対策費       |           | 242    | 70     | 172   |   |
|                         | 8. 報 償 費  | 165    | 42     | 123   | 保健の窓原稿料@10,023×4回=40,092円<br>講師謝金@20,046×4回=80,184円<br>スライド作成費@11,137×4回=44,548円                  |
|                         | 9. 旅 費    | 32     | 13     | 19    | 講師旅費10,780円、司会旅費20,000円<br>車代1,220円   |
|                         | 11. 需 用 費 | 25     | 5      | 20    | コピー代  |
|                         | 12. 役 務 費 | 10     | 5      | 5     | 通信運搬費   |
|                         | 14. 使 用 料 | 10     | 5      | 5     | 会場借上料   |
| (4) 生活習慣病対策<br>セミナー対策費  |           | 954    | 860    | 94    |   |
|                         | 8. 報 償 費  | 570    | 570    | 0     | 保健の窓原稿料@10,023×7回=70,161円<br>講師謝金@20,046×16回=320,736円<br>スライド作成費@11,137×16回=178,192円              |
|                         | 9. 旅 費    | 78     | 78     | 0     | 講師旅費36,000円、司会旅費42,000円   |
|                         | 11. 需 用 費 | 236    | 152    | 84    | 印刷代200,000円、消耗品費36,000円   |
|                         | 12. 役 務 費 | 40     | 30     | 10    | 通信運搬費   |
|                         | 14. 使 用 料 | 30     | 30     | 0     | 会場借上料   |
| 13) 生活習慣病対策費            |           | 1,930  | 1,110  | 820   |   |
| (1) 生活習慣病対策費            |           | 1,930  | 1,110  | 820   |   |
|                         | 8. 報 償 費  | 401    | 34     | 367   | 一般向け講習会(2回)、多職種連携従事<br>者研修会(2回) 講師謝金401,000円  |
|                         | 9. 旅 費    | 829    | 689    | 140   | 専門委員会(2回) 190,000円<br>講習会旅費35,000円、車代4,000円<br>脳卒中に係る小委員会(4回) 300,000円<br>心疾患に係る小委員会(4回) 300,000円 |
|                         | 11. 需 用 費 | 470    | 219    | 251   | 会報印刷代270,000円、食糧費30,000円<br>予啓発資料作成費60,000円<br>看板作成代7,700円、コピー代52,000円<br>消耗品費50,300円             |
|                         | 12. 役 務 費 | 110    | 100    | 10    | 通信運搬費   |
|                         | 14. 使 用 料 | 120    | 68     | 52    | 会場借上料   |
| 14) 地域医療研修及び<br>健康情報対策費 |           | 139    | 142    | △3    |   |
| (1) 地域医療研修及び<br>健康情報対策費 |           | 139    | 142    | △3    |   |
|                         | 9. 旅 費    | 100    | 100    | 0     | 専門委員会(1回)、車代  |
|                         | 11. 需 用 費 | 20     | 20     | 0     | 食糧費、会報印刷代   |
|                         | 12. 役 務 費 | 7      | 10     | △3    | 通信運搬費   |
|                         | 14. 使 用 料 | 12     | 12     | 0     | 会場借上料   |
| 支 出 合 計                 |           | 77,511 | 75,066 | 2,445 |   |

## 令和5年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

| 事業名                    | 支出予算額  | 収 入 予 算 額 |        |         |        |        |       |
|------------------------|--------|-----------|--------|---------|--------|--------|-------|
|                        |        | 県支出金      | 事業団支出金 | 市町村等支出金 | その他委託金 | 医師会補助金 | 利息その他 |
| 1. がん登録対策              | 7,786  | 7,242     |        |         |        | 24     | 520   |
| 2. 胃がん対策               | 5,065  | 262       | 4,400  |         | 220    |        | 183   |
| 3. 子宮がん対策              | 1,438  | 270       | 1,009  |         |        | 80     | 79    |
| 4. 肺がん対策               | 20,981 | 863       | 4,485  | 15,400  | 132    |        | 101   |
| 5. 乳がん対策               | 18,779 | 1,060     | 9,240  | 7,700   | 77     |        | 702   |
| 6. 大腸がん対策              | 570    | 260       |        |         |        | 130    | 180   |
| 7. 肝臓がん対策              | 585    | 293       |        |         |        | 110    | 182   |
| 8. がん検診精度<br>確保対策      | 3,004  | 2,904     |        |         |        | 45     | 55    |
| 9. 若年者心臓検診<br>対策       | 4,927  | 200       | 4,400  |         | 297    |        | 30    |
| 10. 母子保健対策             | 679    | 494       |        |         |        |        | 185   |
| 11. 県民健康対策             | 3,011  | 2,973     |        |         |        |        | 38    |
| 12. 公衆衛生活動<br>対策       | 2,139  | 1,450     | 400    |         |        | 195    | 94    |
| 13. 生活習慣病対策            | 1,930  | 1,880     |        |         |        | 20     | 30    |
| 14. 地域医療研修及び<br>健康情報対策 | 139    |           |        |         |        | 130    | 9     |
| 15. 総 務 費              | 6,478  | 3,982     |        |         |        | 566    | 1,930 |
| 合 計                    | 77,511 | 24,133    | 23,934 | 23,100  | 726    | 1,300  | 4,318 |

## 鳥取県健康対策協議会特別事業・予算

## 1. 定期預金

(単位：千円)

| 科目        | 年度初現在高 | 増 | 減     | 残 額 | 摘 要               |
|-----------|--------|---|-------|-----|-------------------|
| 1. 定期預金積立 | 4,046  |   |       |     | 鳥取銀行本店            |
| 3. 定期預金解約 |        | 0 | 4,046 |     | 定期預金解約し、普通預金へ繰り入れ |
| 計         | 4,046  | 0 | 4,046 | 0   |                   |

## 2. 普通預金収支

(単位：千円)

| 科目     | 年度初現在高 | 増     | 減     | 残 額    | 摘 要             |
|--------|--------|-------|-------|--------|-----------------|
| 1. 収 入 |        |       |       |        |                 |
| 前年度繰越金 | 1,302  |       |       |        |                 |
| 繰入金    |        | 4,046 |       |        | 積立金取崩し金         |
| 雑入     |        | 1     |       | 5,349  | 定期解約利息、普通預金利息   |
| 2. 支 出 |        |       |       |        |                 |
| 備品購入費  |        |       | 4,324 | △4,324 | 肺がん検診X線画像読影機器一式 |
| 計      | 1,302  | 4,047 | 4,324 | 1,025  |                 |